

# 令和4年度 第1回 山口県道路交通渋滞対策部会

---

令和4年8月29日(月)  
山口県道路交通渋滞対策部会

---

## 目次

- 1. これまでの検討経緯
- 2. 主要渋滞箇所のフォローアップ
- 3. 渋滞対策の効果検証
- 4. 道路利用者団体と連携した渋滞対策
- 5. 観光地渋滞対策
- 6. ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討

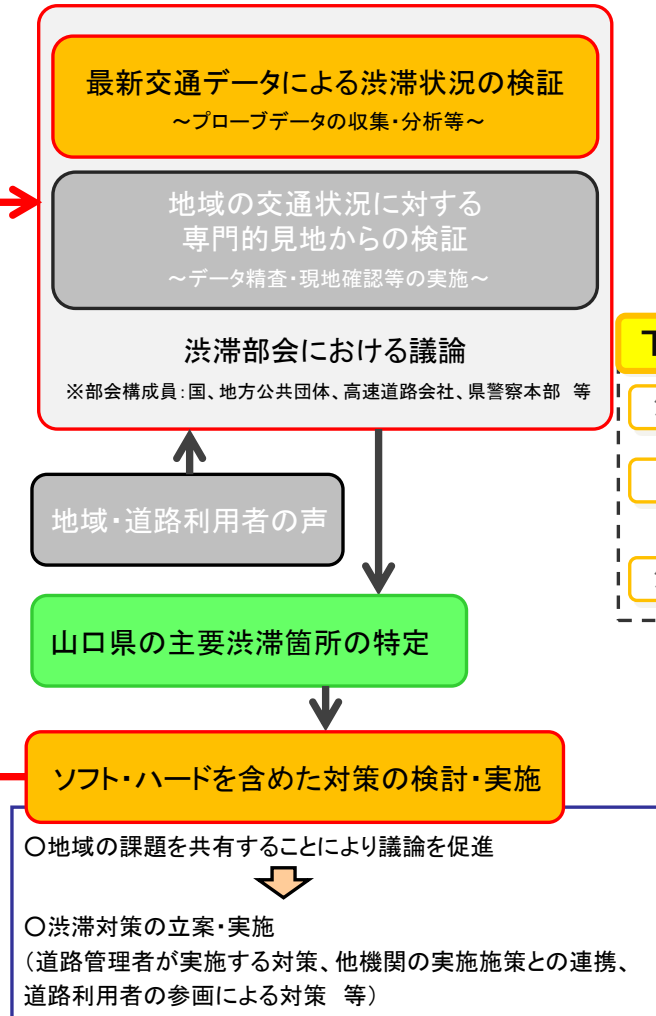
# 1. これまでの検討経緯

---

# これまでの検討経緯

- 平成24年度第3回渋滞部会で議論した内容を受け、平成25年1月に「主要渋滞箇所(83箇所)」を公表。
- 「渋滞対策の基本方針」を策定、主要渋滞箇所のフォローアップを実施するとともに、必要に応じてワーキンググループを開催し、課題の共有および対策の検討等を実施。
- 令和3年度第1回渋滞部会においては、渋滞対策の効果検証、道路利用者団体と連携した渋滞対策について確認等を実施。
- これまでに、計11箇所の主要渋滞箇所の特定解除を決定。

## ▼対策検討のマネジメントサイクル



# 主要渋滞箇所の選定状況（山口県全体）

- 主要渋滞箇所として83箇所（一般道路）を特定し、H28.8に5箇所、H30.10に3箇所、R1.10に1箇所、R2.8に2箇所を解除。現在全72箇所。  
 <箇所内訳> 岩国市・和木町：17、周南市・下松市：11、防府市：6、山口市：10、山陽小野田市・宇部市：11、下関市：14 その他：3（萩市：1、柳井市：2）
- 山口県内で主要渋滞箇所が多く分布している6地区について対応方針を作成。

## ◇山口県内の主要渋滞箇所（一般道）

	主要渋滞箇所数	集約されるエリア数	集約される区間数	箇所数
H24. 12 当初	83箇所	3エリア ※9区間、24箇所が含まれる	14区間 ※40箇所が含まれる	19箇所
H28. 8 解除後	78箇所	3エリア ※9区間、24箇所が含まれる	13区間 ※35箇所が含まれる	19箇所
H30. 10 解除後	75箇所	3エリア ※23箇所が含まれる	12区間 ※33箇所が含まれる	19箇所
R1. 10 解除後	74箇所	3エリア ※23箇所が含まれる	12区間 ※33箇所が含まれる	18箇所
R2. 8 解除後	72箇所	3エリア ※21箇所が含まれる	12区間 ※33箇所が含まれる	18箇所

## <山口県内の特定解除箇所一覧>

交差点名	箇所住所	対策事業名	解除年度
千代町	山陽小野田市小野田	小野田地区交差点改良	H28
労災病院入口	山陽小野田市小野田	小野田地区交差点改良	H28
栄町	山陽小野田市栄町	小野田湾岸道路	H28
山の田	下関市山の田本町	下関北バイパス	H28
綾羅木駅前	下関市綾羅木駅本町	下関北バイパス	H28
新鱈石橋	山口市宮島町	山口防府線(自歩道対策)	H30
秋根北町	下関市秋根北町	(都)長府綾羅木線ほか1線	H30
垢田の辻	下関市垢田町	下関北バイパス、信号現示調整	H30
高磯	下関市王司	下関美祢線交通安全事業	R1
三田川(東)	周南市辻町	三田川交差点渋滞対策	R2
遠石1丁目	周南市遠石1丁目	三田川交差点渋滞対策	R2



# 主要渋滞箇所の特定解除箇所(平成28年度)

- 山口県内の下記5箇所(下関市:2箇所、山陽小野田市:3箇所)について、対策事業が完了し、データによる分析および合同現地地点検結果を踏まえ、平成28年度山口県道路交通渋滞対策部会(H28.8.3)において審議を行った結果、**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。

## ◆特定解除箇所一覧

○:課題なし、▲:課題あり

番号	交差点名	市町	対策事業名	主道路				従道路				H28審議結果
				路線名	道路管理者	旅行速度	渋滞長	路線名	道路管理者	旅行速度	渋滞長	
①	千代町	山陽小野田市	小野田地区交差点改良	一般国道190号	山口河川国道	○	-					解除
②	労災病院入口	山陽小野田市	小野田地区交差点改良	一般国道190号	山口河川国道	○	-	市道	山陽小野田市	▲	○	解除
③	栄町	山陽小野田市	小野田湾岸道路	小野田港線	山口県	○	-	市道	山陽小野田市	▲	○	解除
④	山の田	下関市	下関北バイパス	下関港安岡線(旧一般国道191号)	山口県(H27.4移管)	○	-	下関港垢田線	山口県	○	-	解除
⑤	綾羅木駅前	下関市	下関北バイパス	下関港安岡線(旧一般国道191号)	山口県(H27.4移管)	○	-	綾羅木停車場線	山口県	▲	○	解除

### 凡例

● H28特定解除箇所

### <道路種別>

— 高速道路

— 一般県道以上

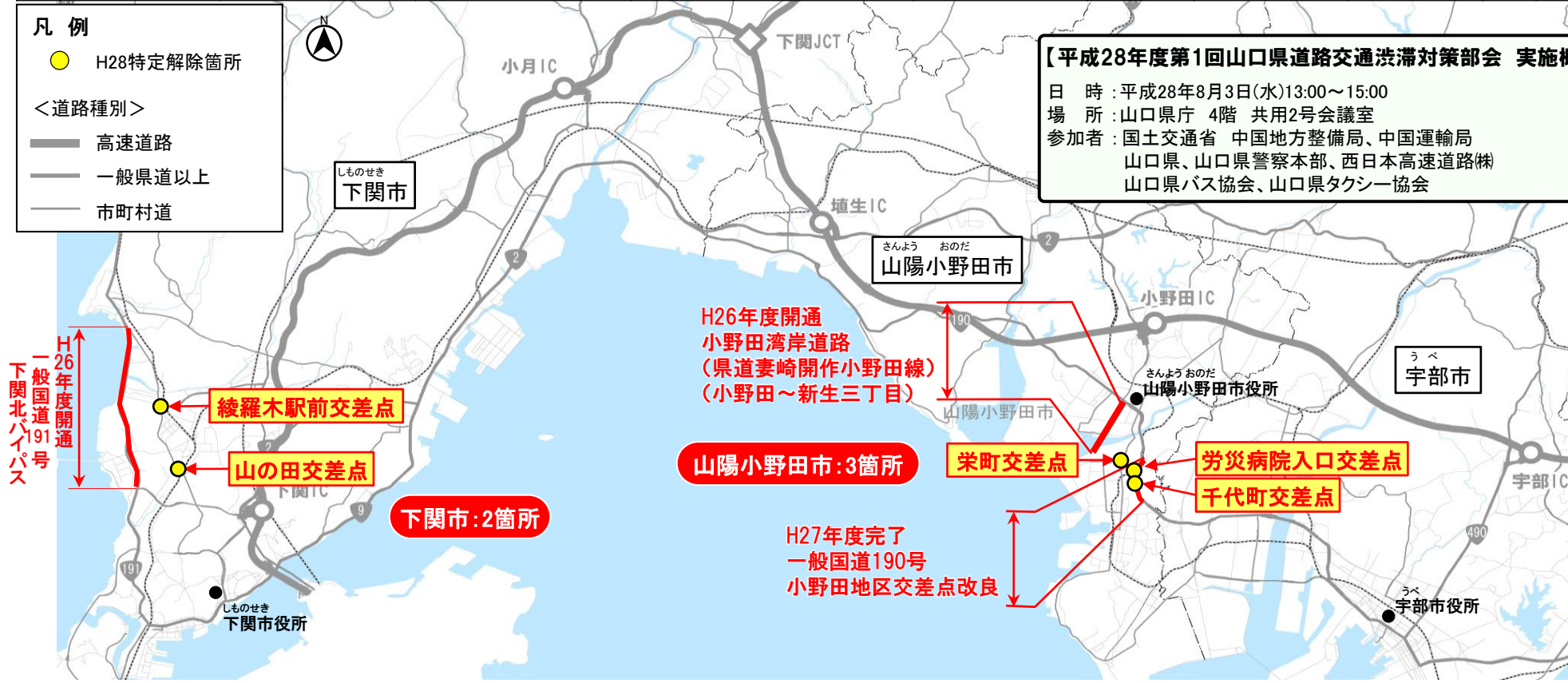
— 市町村道

### 【平成28年度第1回山口県道路交通渋滞対策部会 実施概要】

日時:平成28年8月3日(水)13:00~15:00

場所:山口県庁 4階 共用2号会議室

参加者:国土交通省 中国地方整備局、中国運輸局  
山口県、山口県警察本部、西日本高速道路株  
山口県バス協会、山口県タクシー協会

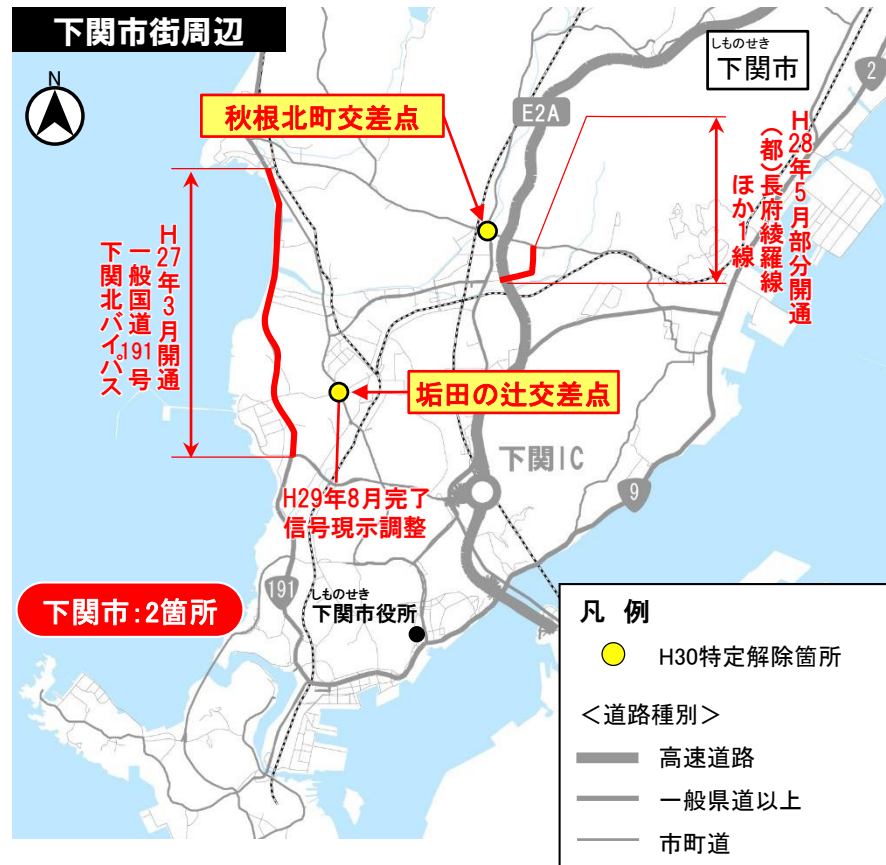


# 主要渋滞箇所の特定解除箇所(平成30年度)

- 山口県内の下記3箇所(山口市:1箇所、下関市:2箇所)について、対策事業が完了し、データによる分析および合同現地点検結果を踏まえ、平成30年度山口県道路交通渋滞対策部会(H30.10.4)において審議を行った結果、**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。

番号	交差点名	市町	対策事業名	主道路		従道路		旅行速度 H29点検	旅行速度 H30点検	H30 審議 結果
				路線名	道路管理者	路線名	道路管理者			
①	新鰐石橋	山口市	山口防府線(自歩道整備)	山口防府線	山口県	山口小郡秋穂線	山口県	○	○	解除
②	秋根北町	下関市	(都)長府綾羅木線ほか1線	下関長門線	山口県	安岡港長府線	山口県	○	○	解除
③	垢田の辻	下関市	下関北バイパス、信号現示調整	下関港安岡線	山口県	市道垢田線他	下関市	○	○	解除

○: 課題なし  
▲: 課題あり



## 【平成30年度第1回山口県道路交通渋滞対策部会 実施概要】

日 時 : 平成30年10月4日(木)14:00~15:10  
 場 所 : 山口県庁 県政資料館2階 第1会議室  
 参加者 : 国土交通省 中国地方整備局、中国運輸局  
 山口県、山口県警察本部、西日本高速道路㈱  
 山口県トラック協会、山口県バス協会、山口県タクシー協会

# 主要渋滞箇所の特定解除箇所(令和元年度)

- 山口県内の高機交差点(下関市)について、対策事業が完了し、データによる分析および合同現地地点検結果を踏まえ、令和元年度山口県道路交通渋滞対策部会(R1.10.24)において審議を行った結果、**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。

## ◆特定解除箇所一覧

○:課題なし、▲:課題あり

番号	交差点名	市町	対策事業名	主道路		従道路		旅行速度 H30点検	旅行速度 R1点検	R1 審議 結果
				路線名	道路管理者	路線名	道路管理者			
①	高機	下関市	下関美祢線交通安全事業	国道491号	山口県	下関美祢線	山口県	○	○	解除

## 下関市街周辺



高機交差点

H29年9月完了  
下関美祢線  
交通安全事業

### 凡例

● R1特定解除箇所

&lt;道路種別&gt;

— 高速道路

— 一般県道以上

— 市町道

## 【令和元年度第1回山口県道路交通渋滞対策部会 実施概要】

日時:令和元年10月24日(木)14:00~

場所:山口県庁 4階 共用第4会議室

参加者:国土交通省 中国地方整備局

山口県、山口県警察本部、西日本高速道路(株)

山口県トラック協会、山口県バス協会、山口県タクシー協会



# 主要渋滞箇所の特定解除箇所(令和2年度)

- 山口県内の三田川(東)交差点(周南市)、遠石1丁目交差点(周南市)について、対策事業が完了し、データによる分析および合同現地検結果を踏まえ、令和2年度山口県道路交通渋滞対策部会 (R2.8.7)において審議を行った結果、**主要渋滞箇所の特定解除**を決定。

## ◆特定解除箇所一覧

番号	交差点名	市町	対策事業名	主道路		従道路		旅行速度 R1点検	旅行速度 R2点検	R2 審議 結果
				路線名	道路管理者	路線名	道路管理者			
①	三田川(東)	周南市	三田川交差点渋滞対策	国道2号	山口河川国道	-	-	○	○	解除
②	遠石1丁目	周南市	三田川交差点渋滞対策	下松新南陽線	山口県	市道	周南市	○	○	解除



### 凡例

● R2特定解除箇所

### <道路種別>

■ 高速道路

■ 一般県道以上

■ 市町道

○: 課題なし  
▲: 課題あり

### 【令和2年度第1回山口県道路交通渋滞対策部会 実施概要】

日時: 令和2年8月7日(金)14:00~

場所: 山口県庁 議会棟 第1特別委員会室

参加者: 国土交通省 中国地方整備局

国土交通省 中国運輸局

山口県、山口県警察本部

西日本高速道路(株)

山口県バス協会

山口県タクシー協会

# 【参考】主要渋滞箇所(一般道)の特定方法

**箇所の精査**

- ・主要渋滞箇所(素案)、パブコメ追加意見箇所(複数意見)、パブコメ追加意見箇所(単数意見)に分類。
- ・主要渋滞箇所(素案)で否定意見があった箇所、パブコメ追加意見箇所(複数・単数)について、データ・現地確認等を実施する。
- ・渋滞状況が確認できない場合は、主要渋滞箇所には含めない

**区間集約**

- ・渋滞交差点等が連続し、区間として渋滞しているところを「区間」、複数の箇所と連担せず、単独で渋滞しているところを「箇所」として整理する。

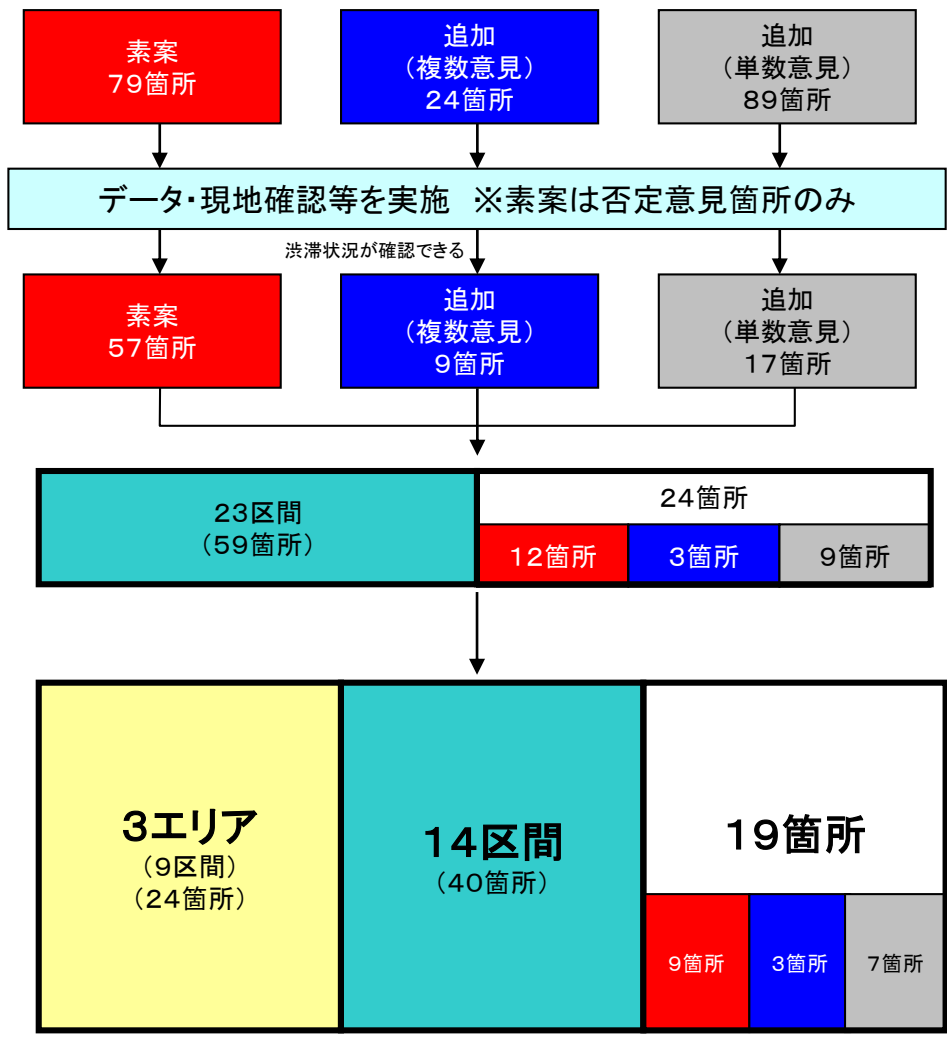
**エリア集約**

- ・都市部などあるエリアにおいて面的に渋滞状況が発生している「区間」「箇所」を「エリア」として集約する。

**主要渋滞箇所を**

- ・**エリア**
- ・**区間**
- ・**箇所**

の3つのレベルで特定



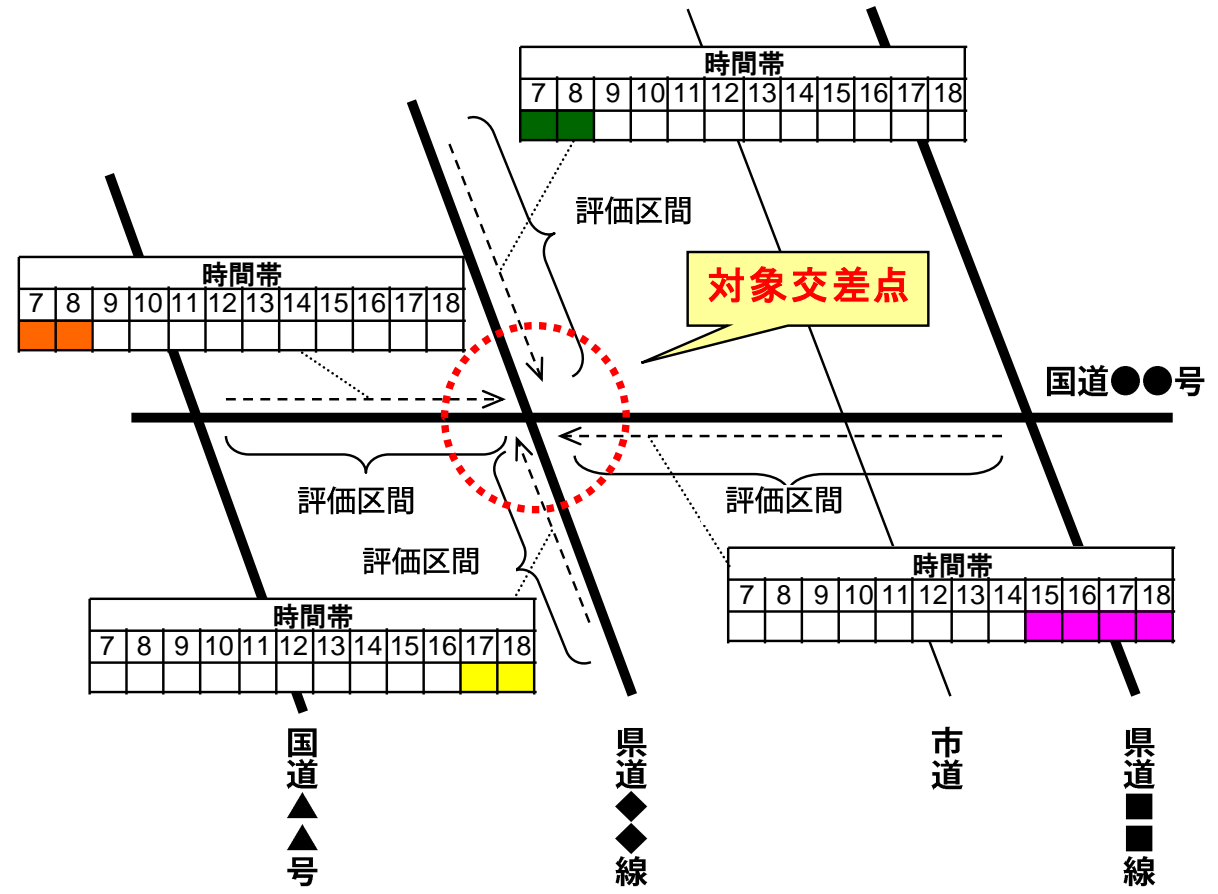
※今回選定されなかった場所も含め、継続的な検討・現地状況のフォローを実施します。

# 【参考】主要渋滞箇所の選定基準について

- 対象交差点の全ての流入方向で、旅行速度が20km/h以下となる時間帯数の合計値にて判定する。
- 主要渋滞箇所の選定基準は、対象交差点の旅行速度が20km/h以下となる時間帯が、流入方向の1方向あたり2時間以上となる交差点とする。(十字路(4枝交差点)の場合は8時間以上が対象(下図参照))

例) 下図の場合、20km/h以下となる総時間帯数は、■(4) + ■(2) + ■(2) + ■(2)の「10時間」となり、4枝交差点の場合の選定基準「8時間」を上回っているため、主要渋滞箇所として選定する。

▼20km/h以下となる総時間帯数のイメージ(4枝交差点の場合)



※ ■, ■, ■, ■ は、対象交差点に接続する各評価区間で流入方向の旅行速度が20km/h以下である時間帯を示す。

## 2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

---



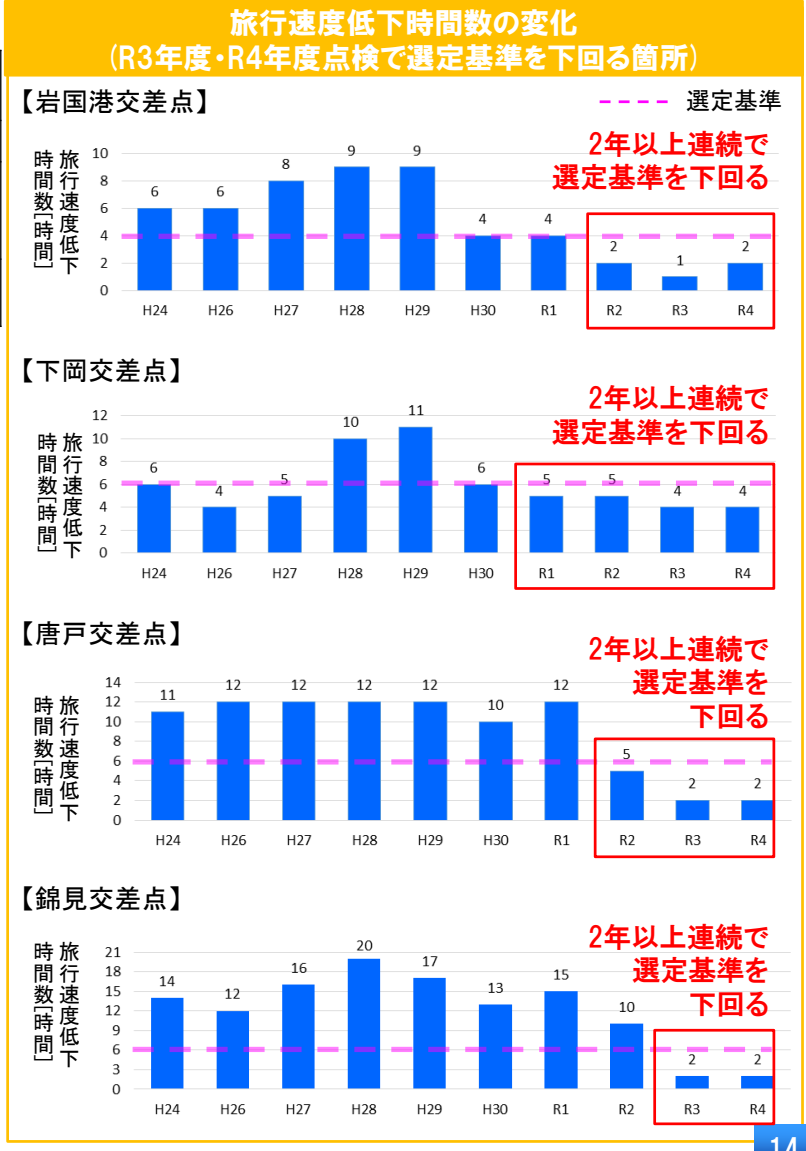
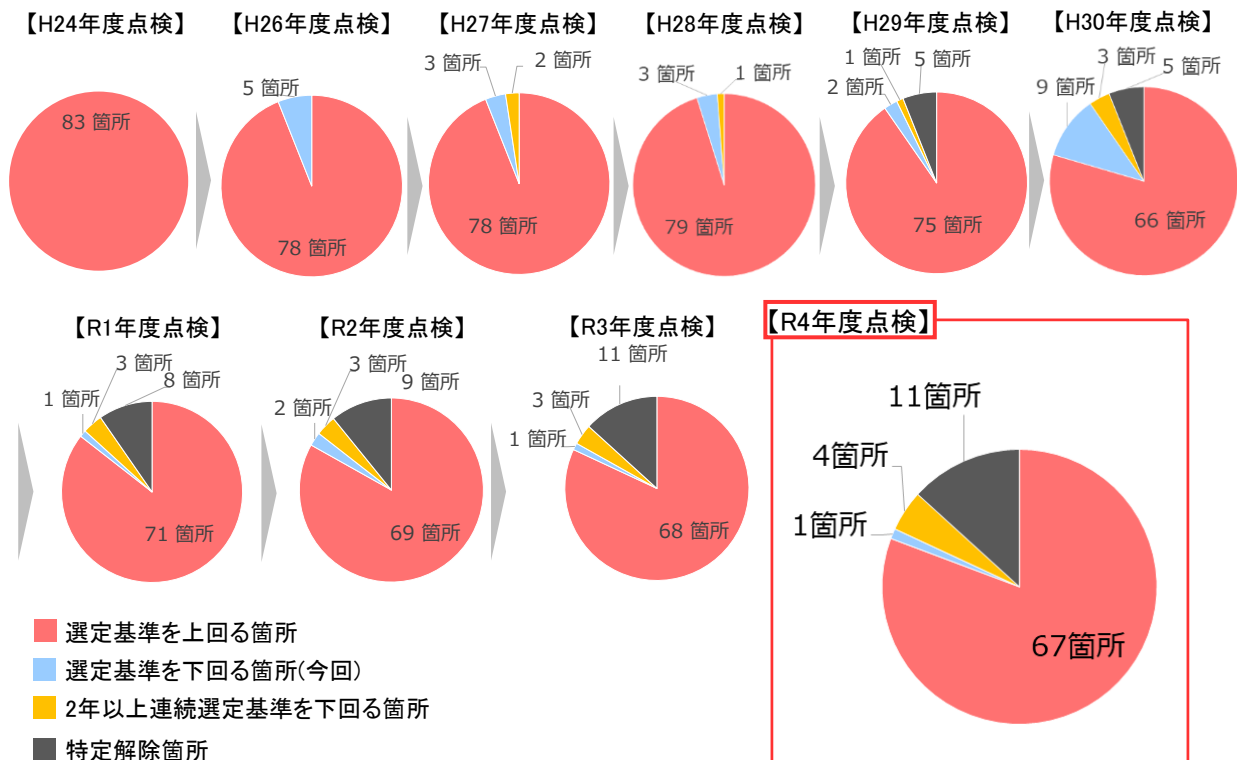
# 最新データによる主要渋滞箇所の現状把握

- 平成25年1月に山口県の主要渋滞箇所83箇所が公表、令和3年度8月までに特定解除箇所9箇所が決定した。
  - 選定基準を下回る箇所数は、H30年度点検では12箇所、R1年度点検では4箇所、R2年度点検では5箇所、R3年度では4箇所である。
  - R4年度点検(今回)では5箇所が選定基準を下回り、このうち2年以上連続で選定基準を下回る4箇所については抜本的な渋滞対策が未実施であり、コロナの影響等で交通が安定しないため引き続きモニタリングを行う。
- ※選定基準を下回る = 主要渋滞箇所選定に非該当

## ◆集計条件

条件	H24年度点検 (H25.1公表 時点)	H26年度点検 (H26.6時点)	H27年度点検 (H27.10時点)	H28年度点検 (H28.8時点)	H29年度点検 (H29.8時点)	H30年度点検 (H30.10時点)	R1年度点検 (R1.10時点)	R2年度点検 (R2.8時点)	R3年度点検 (R3.8時点)	R4年度点検 (R4.8時点)	
データ	民間プローブデータ					ETC2.0プローブデータ					
集計期間	H23.8~ H24.7 平日平均	H25.4~ H25.8 平日平均	H26.4~ H27.3 平日平均	H27.4~ H28.3 平日平均	H28.3~ H29.2 平日平均	H29.4~ H30.3 平日平均	H30.4~ H31.3 (H30.7除く) 平日平均	H31.4~R2.3 平日平均	R2.4~R3.3 平日平均	R3.4~R4.3 平日平均	
主要渋滞箇所	83箇所					78箇所 (特定解除箇所5箇所)		75箇所 (特定解除箇所8箇所)	74箇所 (特定解除箇所9箇所)	72箇所 (特定解除箇所11箇所)	72箇所 (特定解除箇所11箇所)

## ◆主要渋滞箇所83箇所の集計結果



# 選定基準を下回る主要渋滞箇所の位置



# 3. 渋滞対策の効果検証

## ～道路の開通等に伴う状況の変化～

---

- 完成1年以上経過

- ・国道2号馬屋線交差点ピンポイント渋滞対策

～R2年12月完了～

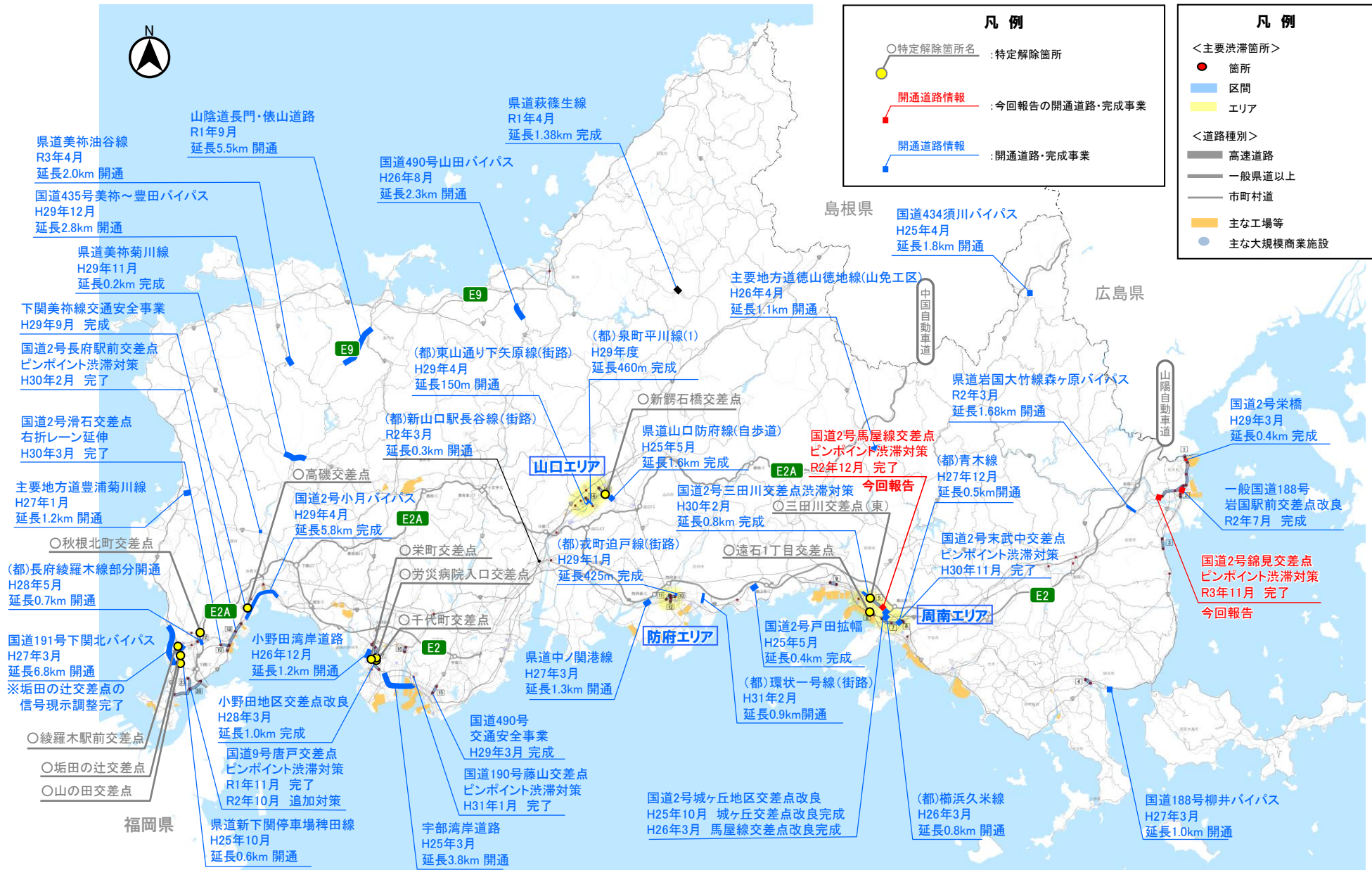
- 完成1年以内

- ・国道2号錦見交差点ピンポイント渋滞対策

～R3年11月完了～



# 主要渋滞箇所および完了事業



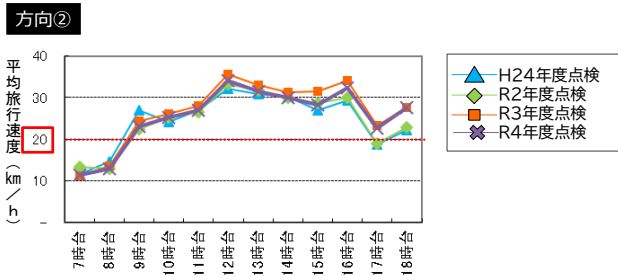
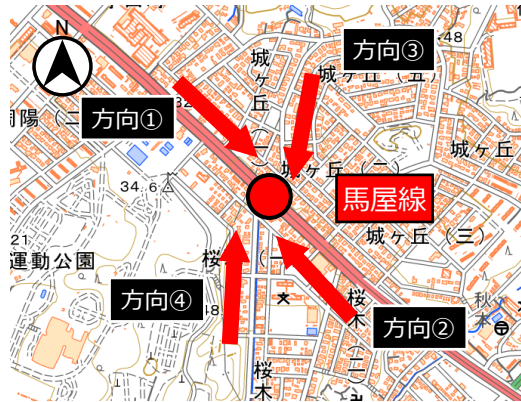
完成1年以上経過

～R2年 12月完了～

**①国道2号馬屋線交差点  
ピンポイント渋滞対策完了による状況の変化**

# 馬屋線交差点右折レーン延伸の概要

- 主要渋滞箇所の馬屋線交差点(周南市)は、高等教育機関(周南公立大学・徳山高専)へのアクセス経路となっており、国道2号の下り方向で朝夕を中心に速度低下が発生している。
- 対策前の方向②の右折レーンは、ピーク時の右折交通を捌くには不足していたため、令和2年12月に中央分離帯の幅員を縮小し、50mから70mへ延伸した。



※データ: H24年度点検:ETC2.0プローブ情報 H23.8~H24.7 (平日平均)  
 R2年度点検:ETC2.0プローブ情報 H31.4~R2.3(平日平均)  
 R3年度点検:ETC2.0プローブ情報 R2.4~R3.3(平日平均)  
 R4年度点検:ETC2.0プローブ情報 R3.4~R4.3(平日平均)

## 対策内容

● 右折車両
● その他走行車両

### 対策前

右折車両の滞留時に、直進交通を阻害

R1年11月撮影  
至 下関  
右折レーン側の直進レーンでは流れが停滞

### 対策後(R2.12完成)

中央分離帯の幅員を縮小し、右折レーンを延伸(50m⇒70m)

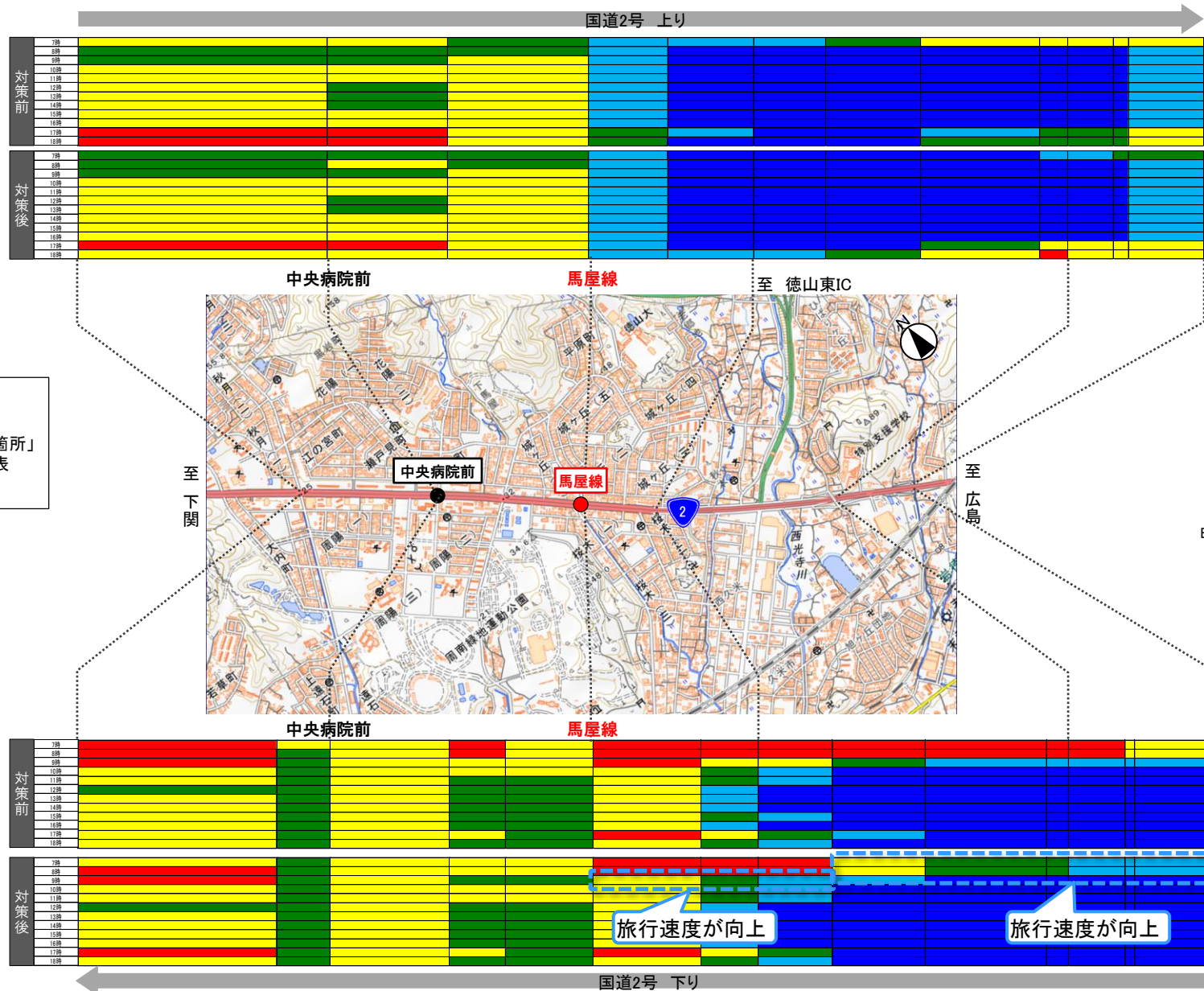
R3年3月撮影  
至 下関

# 国道2号の渋滞状況の変化

## 3.渋滞対策の効果検証(完成1年以上経過)

### ①国道2号馬屋線交差点右折レーン延伸

● 国道2号下り方向では、右折レーン延伸を行った馬屋線交差点付近において、朝ピーク時に速度が向上している。



【凡例】  
 ● 主要渋滞箇所  
 「山口県の主要渋滞箇所」  
 平成25年1月25日公表  
 ● その他交差点

【凡例】旅行速度  
 ■ 20km/h以下  
 ■ 20km/h~30km/h以下  
 ■ 30km/h~40km/h以下  
 ■ 40km/h~50km/h以下  
 ■ 50km/h超  
 ■ データ未取得

ETC2.0プローブデータ  
 対策前: R2.6(平日) 7時~19時  
 対策後: R3.6(平日) 7時~19時

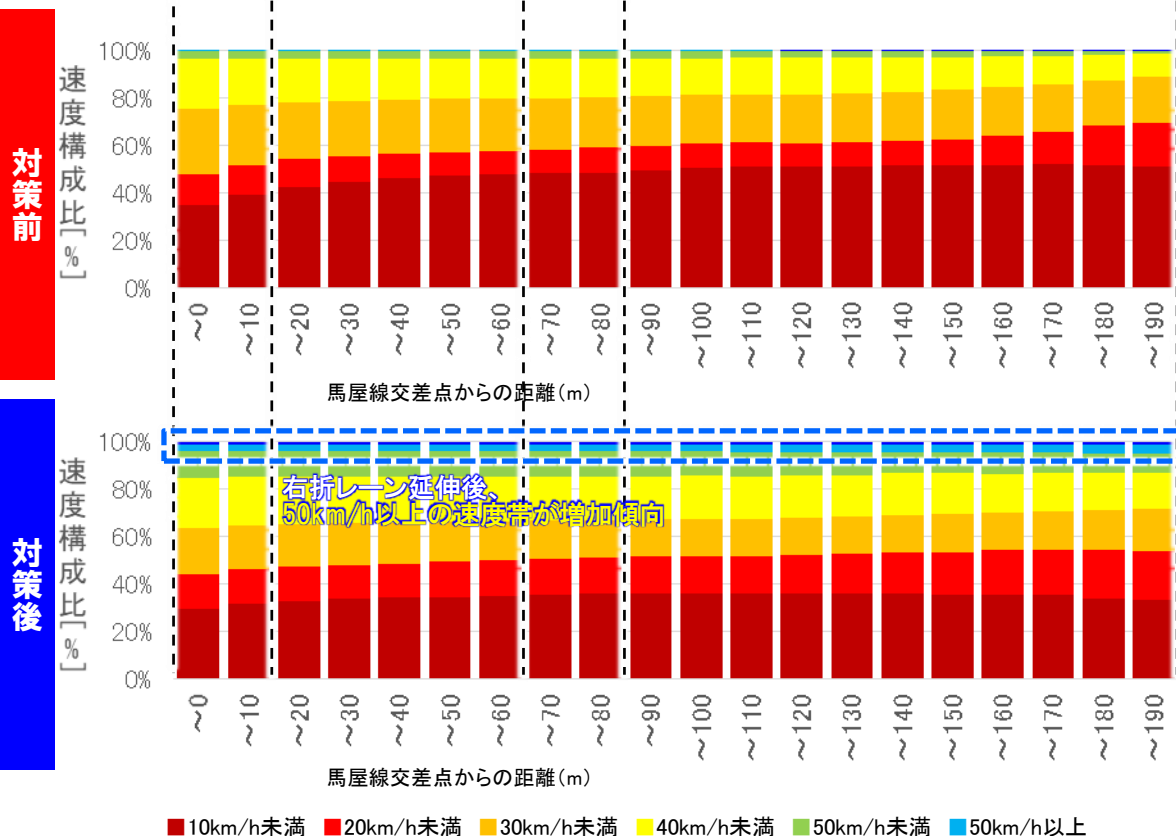
旅行速度が向上

旅行速度が向上

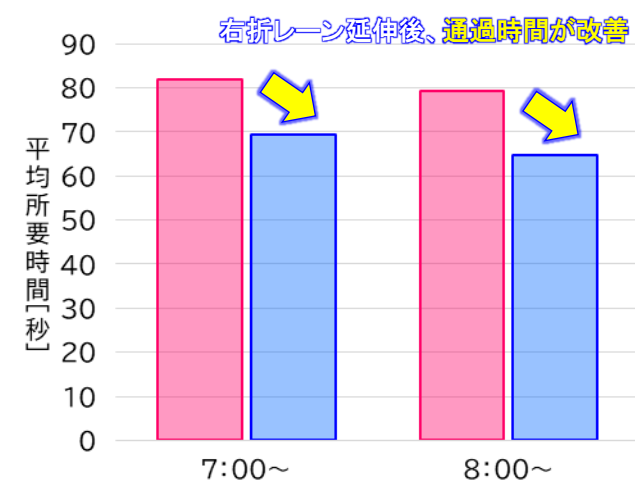
# 対策の効果検証(国道2号の渋滞状況の変化)

●馬屋線交差点の国道2号下りにおける右折レーン延伸により、朝ピーク時間帯(7時台8時台)において、50km/h以上の速度帯の割合が増加し、速度が改善された。

## ■対策前後の10m間隔旅行速度構成比の変化(朝7時台8時台)



## ■対策前後の所要時間変化(朝7時台8時台)



ETC2.0プローブデータ  
 ○対策前: R2.6(平日) 7時台8時台  
 ○対策後: R3.6(平日) 7時台8時台

■ 対策前 ■ 対策後

※馬屋線交差点を直進通過する車両を集計

完成1年以内

～R3年11月完了～

**③国道2号錦見交差点  
ピンポイント渋滞対策完了による状況の変化**

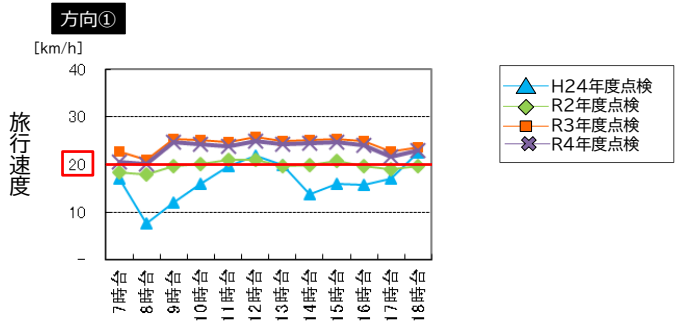
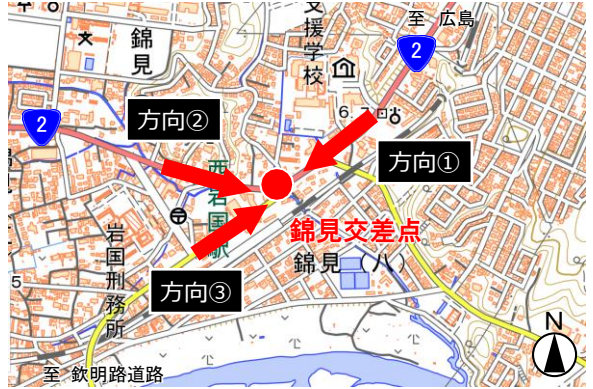
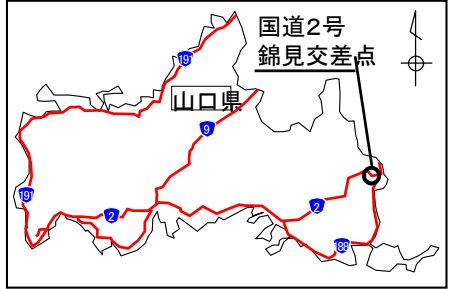
# 国道2号錦見交差点ピンポイント渋滞対策の概要

3. 渋滞対策の効果検証(完成1年以内)

① 国道2号錦見交差点

- 国道2号岩国市の錦見交差点では、朝ピーク時間帯の交通集中により国道2号下り方向(方向①)において速度低下が発生。
- ピンポイント渋滞対策として、令和3年11月に国道2号下り方向の停止線の前出しによる交差点のコンパクト化を実施。

## 位置



## 対策内容

**対策前**

約55m

停止線間の距離が長い

**対策後**

約45m

停止線の前出しにより停止線間距離を短縮

R2年10月撮影

至 下関

至 欽明路道路

R3年11月撮影

至 下関

至 欽明路道路

停止線の前出し (約10m)

※データ: H24年度点検:ETC2.0プローブ情報 H23.8~H24.7 (平日平均)、R3年度点検:ETC2.0プローブ情報:R2.4~R3.3(平日平均)  
R2年度点検:ETC2.0プローブ情報 H31.4~R2.3(平日平均)、R4年度点検:ETC2.0プローブ情報:R3.4~R4.3(平日平均)

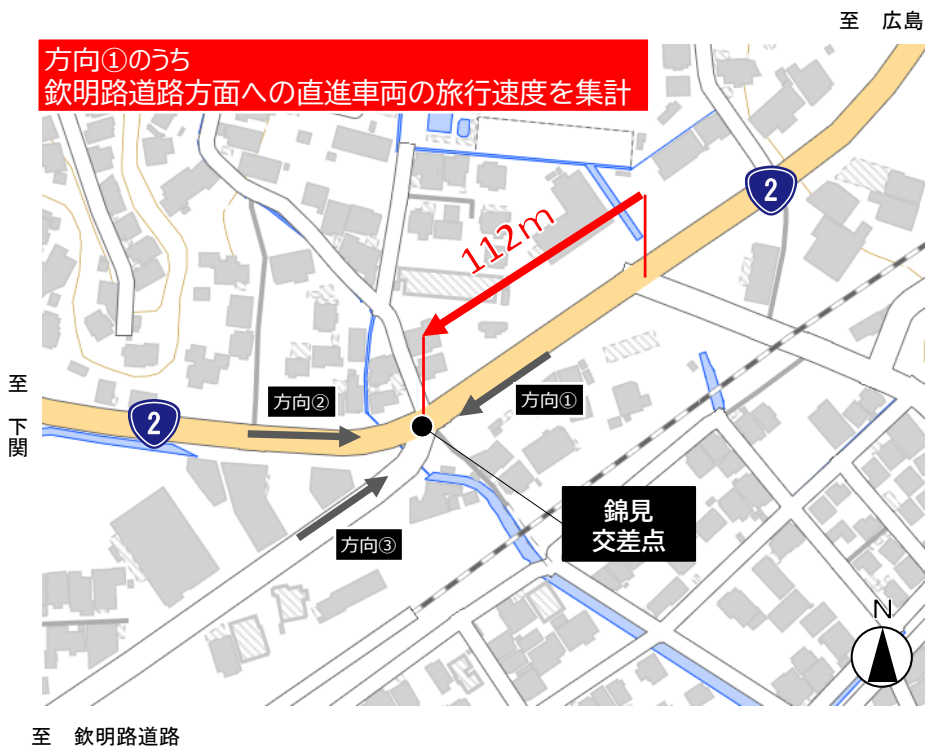
# 国道2号錦見交差点ピンポイント渋滞対策の概要

3. 渋滞対策の効果検証(完成1年以内)

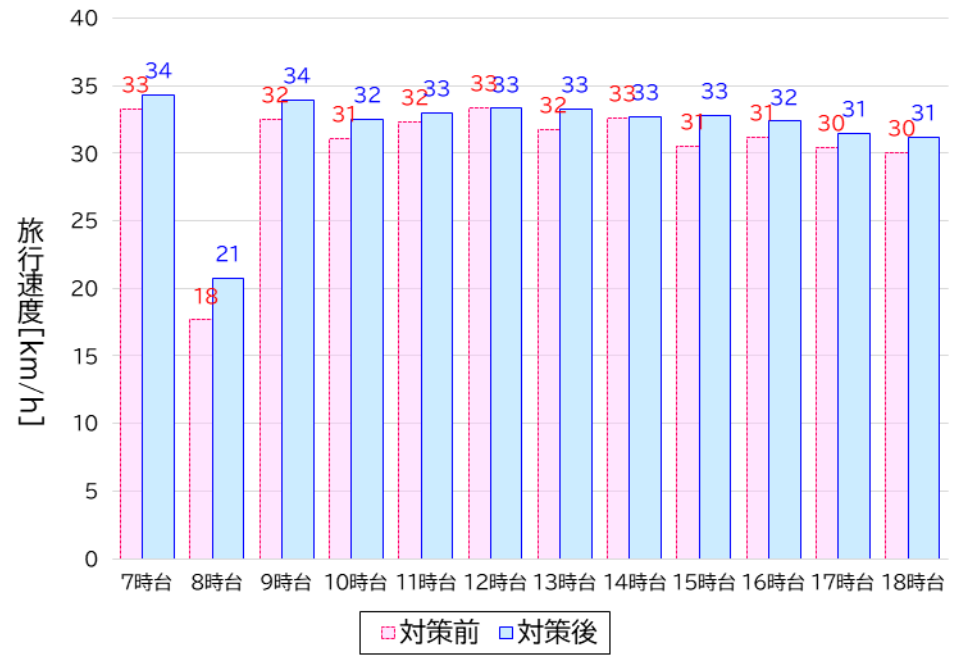
① 国道2号錦見交差点

- 国道2号下り方向の停止線の前出しにより、対策前後において、日中を通じて旅行速度が僅かに増加傾向である。
- 引き続き、旅行速度状況について注視する。

## ■対策前後の旅行速度(方向①のうち欽明路道路方面への直進車両)



停止線の前出しにより、日中を通じて旅行速度は微増。引き続き、旅行速度状況を注視。



データ:ETC2.0プローブデータ  
 平日 7時台~18時台  
 ・対策前 | R3年9月  
 ・対策後 | R4年1月



## 4. 道路利用者団体と連携した渋滞対策

---

### 令和4年度 道路関係予算概要（令和4年1月 国土交通省 道路局・都市局）より

3 人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備

#### (4) 効率的・効果的な渋滞対策

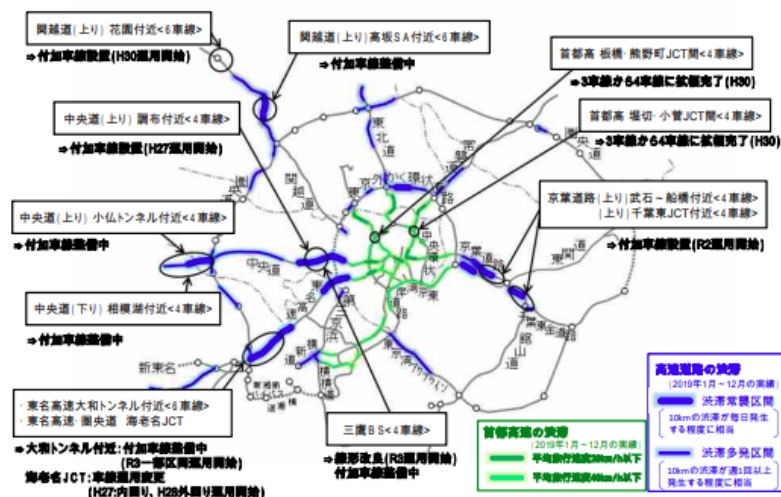
- 道路ネットワークの機能を最大限発揮するため、ETC2.0等のビッグデータを活用し、渋滞を見える化するとともに、渋滞の原因や交通特性等に応じたきめ細やかな対策を効率的・効果的に実施します。

##### <背景/データ>

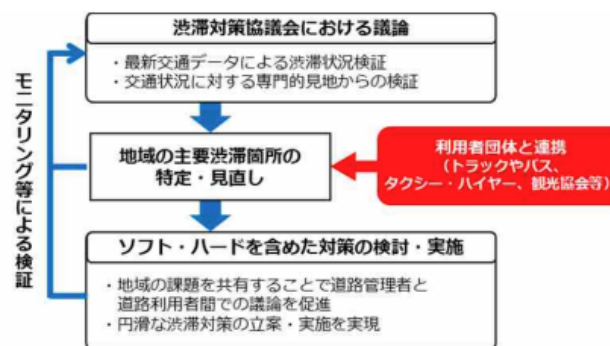
- ・ 1人あたりの年間渋滞損失時間は約40時間。総乗車時間（約100時間）の約4割に相当
- ・ 東京と大阪は先進国（G7）の都市の中でも特に渋滞が激しい<sup>参1</sup>
- ・ 全国の渋滞対策協議会において特定した主要渋滞箇所は約9,000箇所（R2年11月時点）

- 渋滞が深刻な箇所の抜本的な改善に向け、幹線道路ネットワークの整備を引き続き推進
- 高速道路の渋滞対策・機能強化等の早期効果発現を図るため、ETC2.0等のビッグデータを用いたピンポイント対策を機動的に実施（事業中12箇所）
- 渋滞対策協議会<sup>参2</sup>とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取組を全国で推進
- 重要物流道路において円滑な交通を確保するため、沿道の施設立地者に対して、道路交通アセスメント<sup>参3</sup>の実施を求める運用を継続し、立地後は渋滞対策協議会等を活用したモニタリングを推進

##### [首都圏の高速道路における主な交通集中箇所と対策]



##### [渋滞対策の流れ]



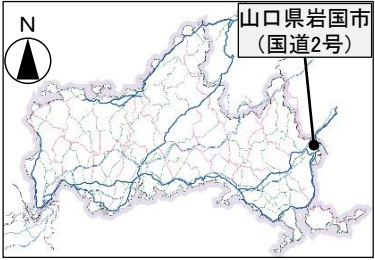
参1：TOMTOM Traffic Index 2019 G7(日・加・仏・独・伊・英・米)の都市のうち、東京2位、大阪10位  
 参2：道路管理者、警察、自治体、利用者団体等が地域の主要渋滞箇所を特定し、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施するため、各都道府県単位等で渋滞対策協議会を設置  
 参3：立地に先立って周辺交通に与える影響を予測し、適切な対策を事前に実施することによって、既存の道路交通に支障を与えることなく施設を立地させるとともに、立地後に交通状況が悪化した場合の追加対策について検討する取組

# 国道2号岩国港交差点ピンポイント渋滞対策

- 主要渋滞箇所の岩国港交差点(岩国市)では、国道2号の上り方向において、岩国交差点の手前200m以上手前から車線減少の路面標示や案内標識が出ており、第二走行車線に利用が集中し、右折車両が存在することで、後続車両への直進阻害が発生している。
- 国道2号の上り方向において、右折車両による直進車両の阻害を解消することで、国道2号の速度向上を図る。

## 国道2号 岩国港交差点 上り方向 右折車両の誘導による直進レーンからの分散

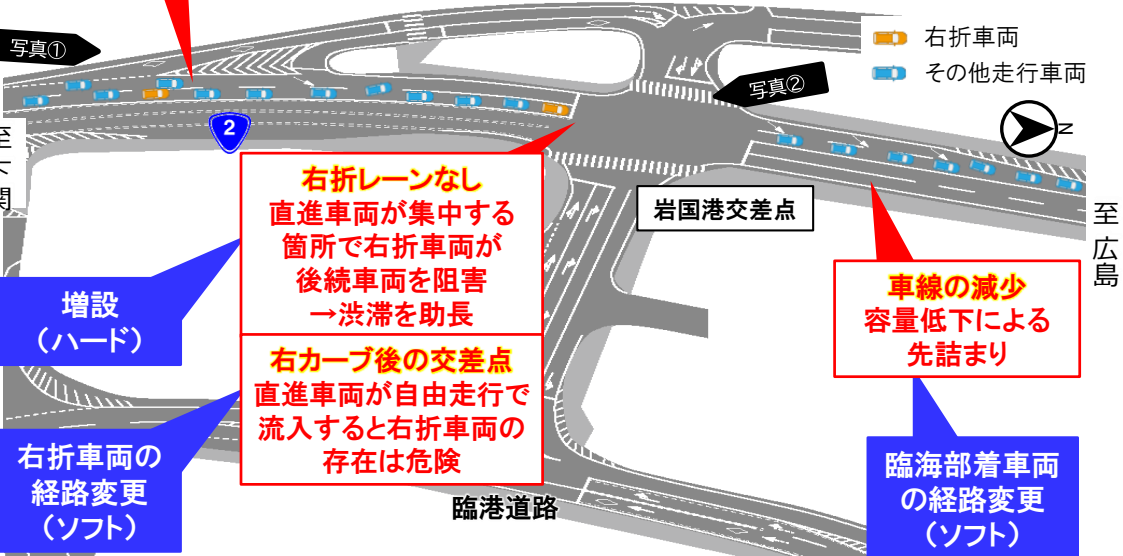
### ■ 位置



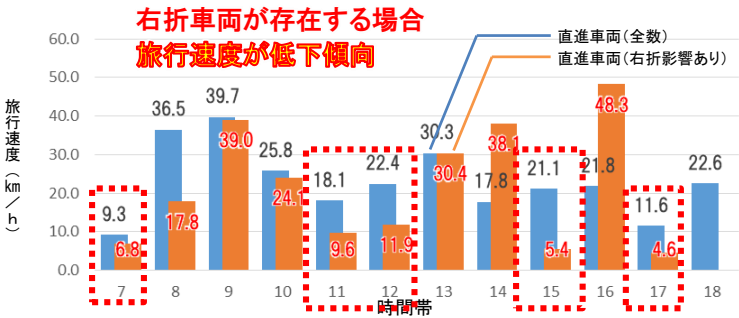
### ■ 渋滞発生メカニズムおよび考えられる対策案

利用最適化 (ハード・ソフト)

車線の減少 実質的には利用は第二走行車線のみ



### ■ 直進車両の旅行速度(右折車両影響)



所要時間データ:ETC2.0プローブデータ R3.9~R3.11(平日)  
 ※岩国港交差点を走り抜けた走行データを集計  
 ※国道2号本線上(ノード251→645、計437m)において、直進車両の始点~終点通過時刻と右折車両の始点~終点通過時刻(同一日)が少しでも(1秒以上)重なるとき、その直進車両を「右折滞留車両の影響を受けた直進車両」とみなす。

国道2号(上り方向)における 右折車両による直進車両の阻害の解消を目的とした対策を検討

## 5. 観光地渋滞対策

---

- 観光地渋滞対策の背景・経緯
- 令和3年度の観光地渋滞対策の実施内容
- 課題および今後の対応方針

# 観光地渋滞対策の背景・経緯

- 観光交通の約9割は乗用車を手段としており、主要渋滞箇所の約2割で観光交通による渋滞が発生している状況である。
- 日本人観光客の約半数が「渋滞」、「駐車場不足」に対して不満を持っており、今後観光需要の増大が見込まれる中、観光地渋滞対策の強化が必要となっている。

社会資本整備審議会 道路分科会 第56回基本政策部会(平成28年10月25日) 資料3より

## 交通の円滑化

## 観光地における渋滞対策

資料 3

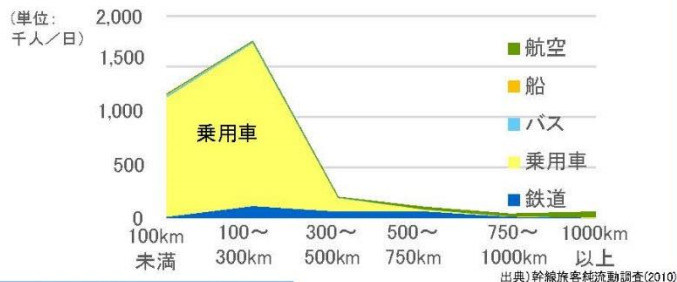
### 観光地における交通の現状と課題

#### 観光交通の現状

##### 観光交通手段

##### 観光交通の約9割は乗用車

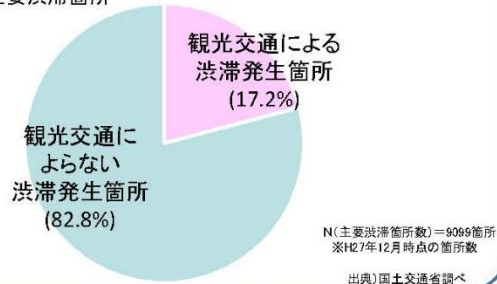
##### ■観光トリップの距離帯別機関分担



##### 観光地周辺の渋滞

##### 主要渋滞箇所の約2割で観光交通による渋滞が発生

##### ■観光地周辺の主要渋滞箇所



#### 観光客の動向

##### 訪日外国人旅行者の動向

##### 訪日外国人旅行者は急激に増加

##### 2020年には4000万人、2030年には6000万人

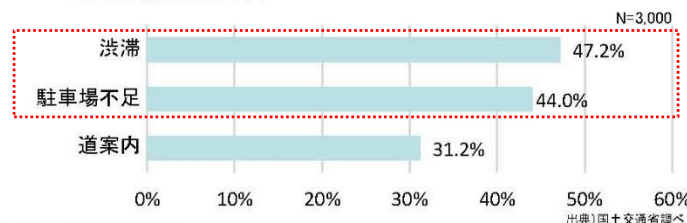
##### ■訪日外国人旅行者の推移



##### 日本人観光客の不満

##### 観光客の約半数が「渋滞」「駐車場」「道案内」に不満

##### ■日本人観光客の不満



観光需要の増大が見込まれる中、観光渋滞対策の強化が必要

# 観光地渋滞対策の背景・経緯

- 下関市唐戸地区の渋滞対策は、2019年度よりソフト面での対策検討を行い、同年度に収容に余力のある細江町駐車場への誘導を促すチラシ案を作成した。
- 新型コロナウイルスの状況を注視しながら、2020年11月の3連休、2021年GW等の連休時には観光地渋滞対策として誘導チラシの展開(HPやSNSでの発信、道の駅・SA・PAでの陳列)を下関市と国土交通省が合同で実施した。

## これまでの観光地渋滞対策内容

年度	実施内容
2019	検討開始、誘導チラシ案作成
2020	11月3連休に誘導チラシの展開を実施
2021	GWおよび7月連休、お盆を対象に実施

### ▼誘導チラシ

- キャッチフレーズ：  
まっすぐよりぐるっと！！
- ETC2.0プローブデータを用いた  
経路別の具体的な所要時間
- 下関市で導入された電動アシスト  
レンタサイクルの情報
- 細江町駐車場から唐戸地区までの  
移動経路



### ▼対策メニューと実施内容の分担

対策メニュー		実施内容
駐車場不足対策	既存駐車場の有効活用等	① 山口県・福岡県内の高速道路SA/ PA、山口県内の一部道の駅等における細江町駐車場利用促進チラシの陳列 ※併せて下関市のHP、SNSを通じて情報展開
	臨時駐車場の確保	② 臨時駐車場の確保
渋滞の分散対策	横断幕・立て看板等による案内	③ 下関IC⇒みもすそ川ルートの案内 ④ 市営の案内(細江町駐車場、赤間町駐車場、市役所立体駐車場) ⑤ 立て看板への「ぐるっと！」補助看板付け足し ⑥ デジタルサイネージによる掲示
	渋滞・駐車場情報の提供	⑦ Webでの情報提供(まちなび、下関市HP、観光及び施設のHP) ⑧ FM放送での情報提供 ⑨ 駐車場満空情報提供サイト「まちなび」での情報提供
	細江町駐車場への誘導策	⑩ 200円割引券の無料配布の実施

※赤字部：道路交通渋滞部会(国土交通省)の実施対策 / ※青字部：下関市の実施対策

## 対策箇所位置図



◆市営駐車場 満空情報(2019年5月3日(祝)実績)

駐車場	時間帯						
	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時
唐戸市場	混	満	満	満	満	満	満
海響館	満	満	満	満	満	満	満
赤間町	満	満	満	満	満	満	満
市役所	空	満	満	満	満	満	混
細江町	空	空	空	混	混	空	空

# 令和4年度(2022年度)の観光地渋滞対策の実施内容

- コロナ禍が継続する社会情勢ではあるものの、下関市中心部における観光渋滞を改善するため、過年度に引き続き2022年のGWおよび8月のお盆期間において細江町駐車場への誘導チラシの展開を実施した。
- GWについては過年度と同様にHP・SNSでの発信および道の駅・SA・PAでの陳列を実施し、8月はHP・SNSでの発信を行った。

## 今年の観光地渋滞対策内容

年度	実施内容
2022	GW、8月(お盆休み)を対象に実施

### ▼誘導チラシ

GW版

8月版



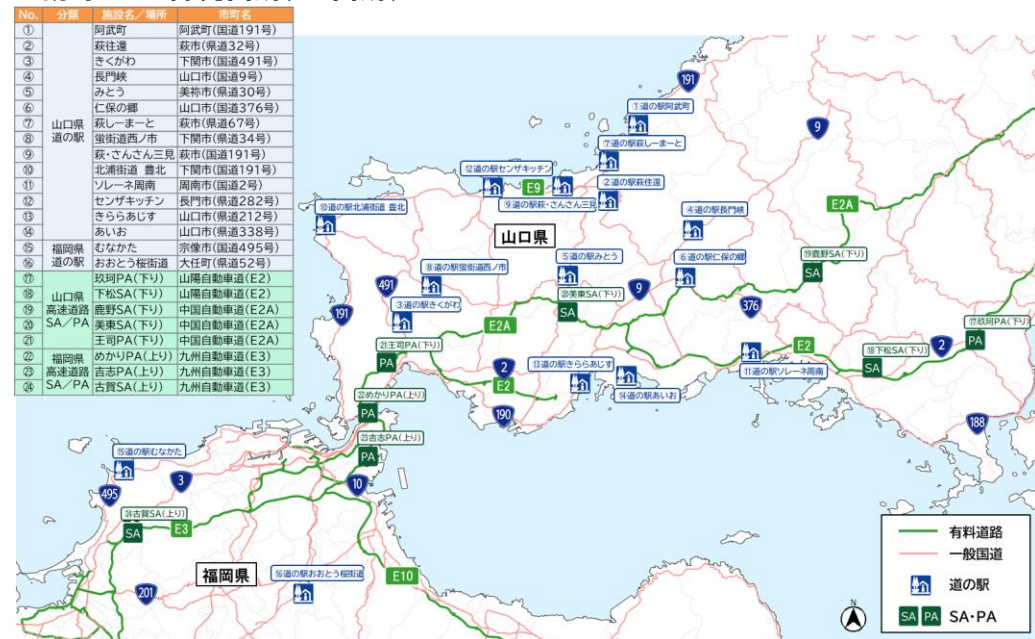
### ▼対策メニューと実施内容の分担

対策メニュー		実施内容
駐車場不足対策	既存駐車場の有効活用等	① 山口県・福岡県内の高速道路SA/PA、山口県内の一部道の駅等における細江町駐車場利用促進チラシの陳列 ※併せて下関市のHP、SNSを通じて情報展開 ② 市役所駐車場の有効活用、唐戸市場駐車場棟の効率的運用
	臨時駐車場の確保	③ 臨時駐車場の確保
	横断幕・立て看板等による案内	④ 下関IC⇒みもすそ川ルートの案内 ⑤ 市営の案内(細江町駐車場、赤間町駐車場、市役所立体駐車場) 立て看板への「ぐるっと！」補助看板付け足し
渋滞の分散対策	渋滞・駐車場情報の提供	⑦ Webでの情報提供(まちナビ、下関市HP、観光及び施設のHP) ⑧ FM放送での情報提供 ⑨ WEB上地図アプリ内の市営駐車場からまちナビへのリンク
	細江町駐車場への誘導策	⑩ 200円割引券の無料配布の実施
		⑪ レンタサイクルの実施
		⑫ 大型観光バスの誘導

※赤字部: 道路交通渋滞部会(国土交通省)の実施対策 / ※青字部: 下関市の実施対策

### ▼誘導チラシ陳列箇所(24箇所)

No.	分類	施設名/場所	市町名
①		阿武町	阿武町(国道191号)
②		萩往還	萩市(国道32号)
③		きくがわ	下関市(国道491号)
④		長門峡	山口市(国道9号)
⑤		みとう	美祿市(県道30号)
⑥		仁保の郷	山口市(国道376号)
⑦	山口県	萩しーまーと	萩市(県道67号)
⑧	道の駅	蜜街道西ノ市	下関市(県道34号)
⑨		萩・さんさん三見	萩市(国道191号)
⑩		北浦街道 豊北	下関市(国道191号)
⑪		ソレーネ奥南	周南市(国道2号)
⑫		センザキッチン	長門市(県道282号)
⑬		きららあじす	山口市(県道212号)
⑭		あいお	山口市(県道338号)
⑮	福岡県	むなかた	宗像市(国道495号)
⑯	道の駅	おおとう桜街道	大任町(県道52号)
⑰		玖珂PA(下り)	山陽自動車道(E2)
⑱	山口県	下松SA(下り)	山陽自動車道(E2)
⑲	高速道路	鹿野SA(下り)	中国自動車道(E2A)
⑳	SA/PA	美東SA(下り)	中国自動車道(E2A)
㉑		玉珂PA(下り)	中国自動車道(E2A)
㉒	福岡県	めからPA(上り)	九州自動車道(E3)
㉓	高速道路	吉志PA(上り)	九州自動車道(E3)
㉔	SA/PA	古賀SA(上り)	九州自動車道(E3)



### ▼チラシを手にする様子(下松SA)



(R4年5月3日(祝)撮影)

### ▼HP・SNSでの情報発信先

No	分類	発信先	発信方法
1	HP	山口河川国道事務所	「記者発表」にて発信
2		まちナビShimonoseki	「お知らせ」にて発信
3		トラストパーク(株)HP	「お知らせ」にて発信
4	Facebook	下関市	投稿による発信
5		下関市観光政策課	投稿による発信
6	Twitter	下関市	ツイートによる発信
7	その他	しもまちアプリ	イベント情報にて発信

## 令和4年度(2022年度)の観光地渋滞対策の実施内容

- チラシは、休憩施設などに1900枚配布し、5割程度捌けた。あわせて、HPやSNSにおいて情報発信を行い、SNSでは4,000回以上の閲覧数を記録した。
- アンケート回答数は46であり、入手場所は下関市内での入手が20枚で最も多く、次いでHP・SNSからの入手が11枚で二番目に多かった。
- チラシが経路設定の参考になった(約8割)、迂回ルートがわかりやすかった(約6割)と回答し、役立つ情報として、200円クーポン、迂回ルートが多く挙げられた。

## ■ チラシの配布状況・発信状況



## ◆ 道の駅・高速道路SA/PAへの配布状況

分類	配布箇所	配布数	さばけ枚数
道の駅	山口県内計16箇所	50×11箇所 100×5箇所 1050枚	653枚 (62.2%)
高速道路 SA/PA	山口県・福岡県内 計8箇所	50×1箇所 100×7箇所 750枚	341枚 (45.6%)
合計	24箇所	1,900枚	994枚 (52.3%)

## ◆ インターネット上での情報発信

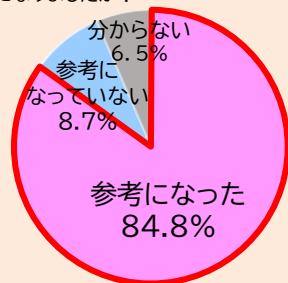
分類	配布箇所	実施数	閲覧回数
インターネット (掲載期間: 4/19(火)~)	山口河川国道事務所 記者発表	1回	—
	まちなびshimonoseki	2回	計426回
	下関市公式Twitter (下関市管理)	1ツイート	4,180回
	下関市公式 Facebook	1投稿	いいね73件
	下関市観光政策課 Facebook	1投稿	いいね31件

## ■ 細江町駐車場でのアンケート調査の概要

- ・調査目的: 連休時の細江町駐車場の利用状況や、利用者の意識を把握するため実施
- ・調査方法: WEBアンケート調査
- ・調査対象: チラシ提示による割引適用者
- ・調査日: 2022年4月29日(金)~5月8日(日)

## チラシの有効性

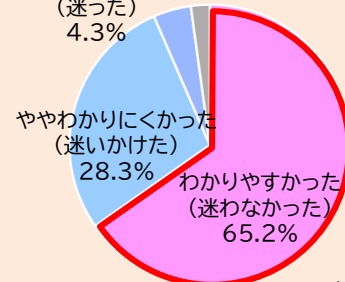
Q. チラシは、今回の下関への来訪や移動経路設定の参考になりましたか？



(N=46)

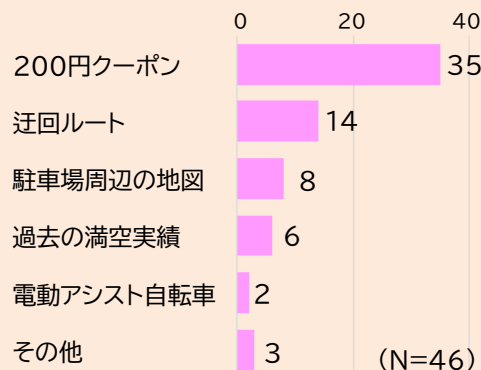
## 迂回ルートのわかりやすさ

わかりにくかった (迷った) 4.3%



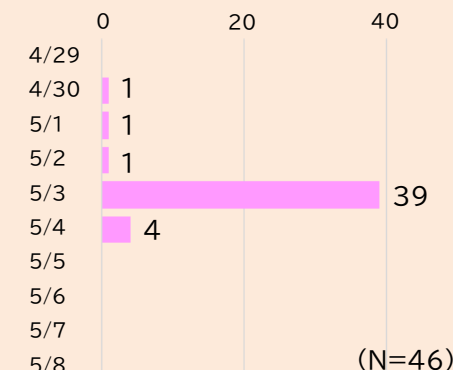
(N=46)

## チラシの役立つ情報【複数回答可】



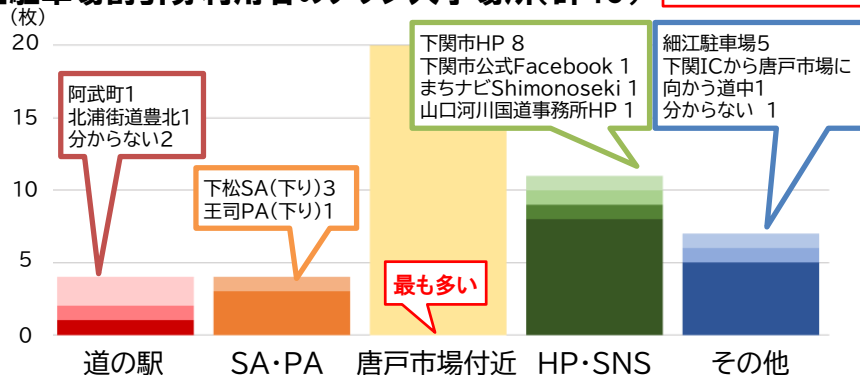
(N=46)

## チラシを活用した日



(N=46)

## ■ 駐車場割引券利用者のチラシ入手場所(計46)



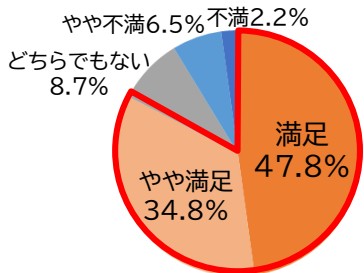


# 細江町駐車場利用者の意識調査

- 駐車場利用による来訪満足度が高い人は約8割であった一方で、満足度が低い人は約1割であった。  
満足度が高い理由は「スムーズに駐車できたことによる観光時間の確保」、満足度が低い理由は「駐車場までの経路のわかりづらさ、所要時間」が挙げられた。
- 本取り組みが行動を見直すきっかけになると回答した人は約8割であり、来訪満足度も高い一方で、見直すきっかけにならないと回答した人は約2割存在した。
- 期待する広報には「HP」が約6割で最も多く、次いで「Twitter」「Instagram」が約3割で二番目に多かった。

## ■ 細江町駐車場利用による来訪満足度

Q. 渋滞区間を迂回し、細江町駐車場を利用したことによる唐戸エリア来訪の満足度を教えてください。



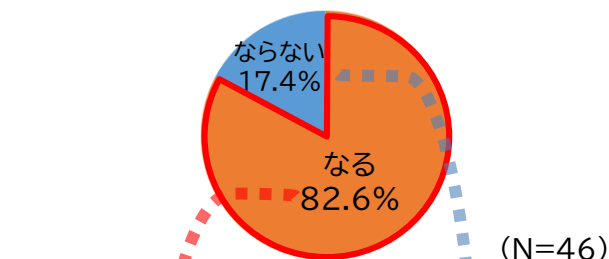
スムーズに駐車ができ、観光時間を確保できることが満足度の高さにつながっている。

満足度	理由	票数
満足	駐車場が空いていた。	3
	遠くなかった。	1
	楽しめた。	2
やや満足	観光時間の確保ができた。	1
	ペットの良い散歩道になった。	1
	駐車場が少ない。	1
どちらでもない	少し遠い。	2
	案内がわかりにくい。	1
やや不満	駐車場にたどり着くまでの時間。 道が入り組んでいてわからなかった。	1

駐車場までの迂回ルートがわかりづらさ、目的地までの距離が課題

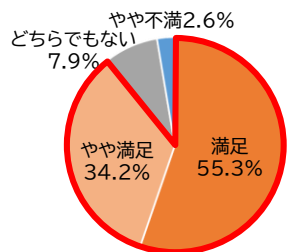
## ■ 行動変更へのきっかけ

Q. 渋滞区間を避けて、余裕のある駐車場を利用するという今回の呼びかけ(まっすぐよりぐるっと)の取り組みは、ご自身の行動を見直すきっかけになりますか？

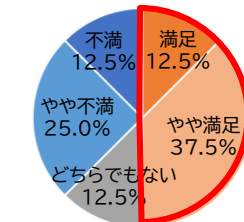


● きっかけ × 満足度

・ きっかけになる      ・ きっかけにならない



(N=38)

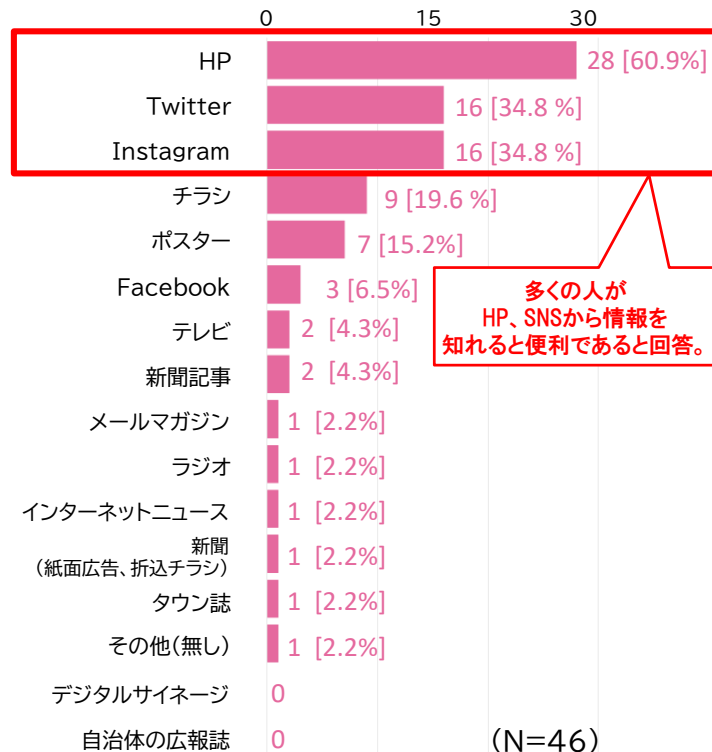


(N=8)

## ■ 期待する広報

Q. 渋滞区間を避けて、余裕のある駐車場を利用するという今回の呼びかけ(まっすぐよりぐるっと)をどのように知れると便利ですか。該当するものすべてを教えてください。

【複数回答可】



多くの人がHP、SNSから情報を知れると便利であると回答。

# 【参考】コロナ禍前GWの下関市街の旅行速度の比較(国道2号、下関港線、国道9号)

- コロナ禍前(2019年)・コロナ禍(2020年)・今年(2022年)のGWについて、国道2号～下関港線～唐戸市場前交差点の旅行速度を整理した。
- コロナ禍(2020年)は緊急事態宣言期間の影響があり速度低下が大幅に改善していた。一方、今年(2022年)はコロナ禍前(2019年)と同様の傾向であり、下関港線から唐戸市場前交差点にかけての区間において速度低下が発生している。

## 各年5月3日の 国道2号、下関港線等 の旅行速度

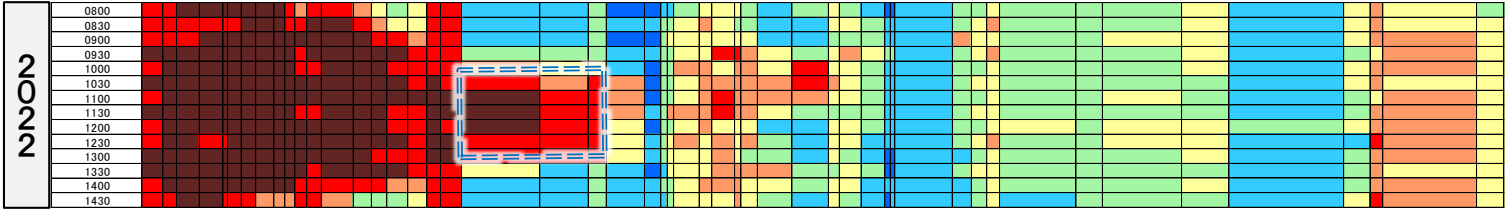
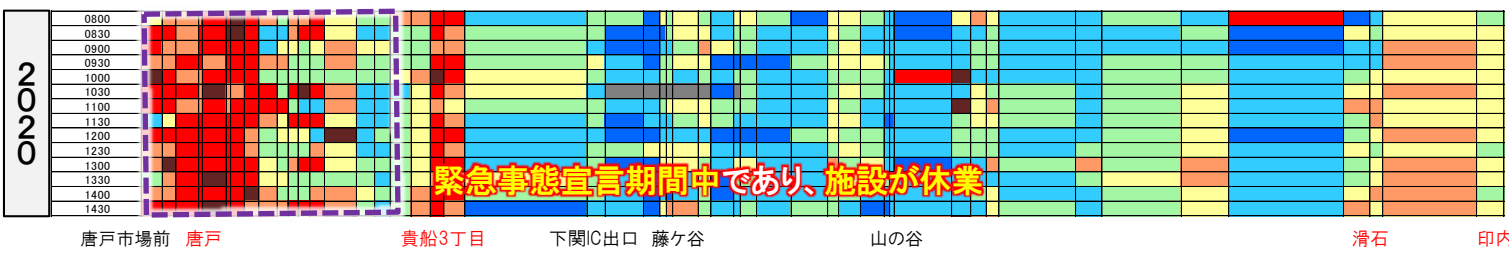
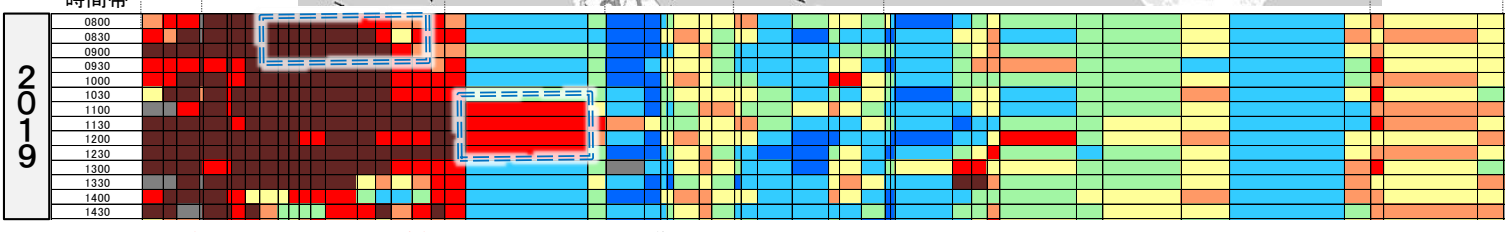
	5月				
	1日	2日	3日	4日	5日
2019年	(水・祝)	(木・祝)	(金・祝)	(土)	(日)
2020年	(金)	(土)	(日)	(月・祝)	(火・祝)
2022年	(日)	(月)	(火・祝)	(水・祝)	(木・祝)

2020年の唐戸地区の施設の営業状況

- 唐戸市場  
・2020.3.6～2020.5.22 「馬関街」および日曜祝日営業中止
- 「海響館」および「はいからっと横丁」  
・2020.4.4～2020.6.18. 休館



## ▼唐戸市場駐車場の入庫待ちの状況



【凡例】

- 主要渋滞箇所  
「山口県の主要渋滞箇所」  
平成25年1月25日公表
- その他交差点

【凡例】旅行速度[km/h]

- ～ 10以下
- 10 ～ 20以下
- 20 ～ 30以下
- 30 ～ 40以下
- 40 ～ 50以下
- 50 ～ 60以下
- 60 ～
- データ無

■ 旅行速度データ/ETC2.0プローブデータ  
2019: 2019.5.1～2019.5.5 日別  
2020: 2020.5.1～2020.5.5 日別  
2022: 2022.5.1～2022.5.5 日別(速報値)

西方向  
(唐戸市場方向)

# 課題および今後の対応方針

- 2022GWの唐戸市場周辺の旅行速度低下状況は、コロナ禍前の傾向に戻りつつあり、激しい速度低下状況である。
- 誘導チラシによる細江町駐車場の利用は進んでいるものの、細江駐車場への経路案内や誘導チラシの周知方法など、利用者ニーズを把握することができ、引き続き工夫の余地があることが明らかとなった。
- 継続的な取り組みを実施することで周知の拡大・定着を図るとともに、コロナ禍の情勢を注視しつつタイミングを見計らって戦略的な広報展開(経路案内・周知方法の改善)を検討し、実施する予定である。

## 細江駐車場までの わかりやすい経路案内

- 「駐車場までの経路がわかりにくい」ことが満足度低下の要因  
※マップによる案内だけでは利用されにくい可能性

### → 動画による経路案内の実施

チラシに細江駐車場までの経路案内動画のリンク・二次元コードを付与



リンク・二次元コードを付与



トンネルを抜けたら、右の車線へ

## SNSの有効活用

- アンケート回答者の多くが「HPやSNSによる広報」を期待
- 新型コロナウイルス感染症予防の観点から積極的な広報は未実施  
※発信情報が届いていない可能性

### → 影響力のある施設、団体等のリツイート

### → キーワード付与によるハッシュタグの活用

ツイッターアカウントを持つ施設、団体等	
1	tysテレビ山口 宣伝部【公式】
2	おいでませ山口へ
3	山口県PR本部長ちよるる【公式】
4	下関市火の山ロープウェイ【公式】 @ただいま運行中
5	厳島神社@下関
6	豊田町観光協会
7	北九州市観光情報 ぐるリッチ北九州
8	日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡
9	関門テレビ
10	下関市満珠荘【公式】
11	門司港レトロインフォメーション

ハッシュタグ名	
1	#下関観光
2	#唐戸
3	#唐戸市場
4	#関門
5	#関門海峡
6	#山口観光
7	#下関渋滞
8	#ストレスフリー観光
9	#スマート観光
10	#まっすぐよりぐるっと

## 6. ニューノーマル時代における 交通需要マネジメントの検討

---

- 取り組みの背景・経緯
- 対象エリアの交通状況
- 取組の検討状況

# 令和4年度 道路関係予算概要（令和4年1月 国土交通省 道路局・都市局）より

3 人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備

## （3）ICT交通マネジメントの展開

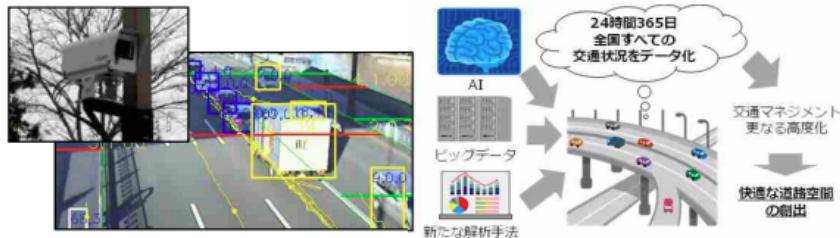
- ETC2.0等のビッグデータを活用し、交通状況の常時観測体制の構築を目指すとともに、日常的に繰り返される渋滞や、災害・イベント・大規模更新等に起因する渋滞に対して、データに基づいたソフト対策を関係者との協力体制を構築した上で推進します。

### 【ICT交通マネジメント計画】

#### <背景/データ>

- ・ 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査では直轄国道での人手観測を原則廃止（平成27年度調査での人手観測割合：約35%）

- AI等の新技術を活用した観測手法や、既存ビッグデータを活用した推定手法などを確立し、5年後を目途に交通状況の常時観測体制を概成
- 地域道路経済戦略研究会<sup>参1</sup>の場を活用し、ETC2.0や他のビッグデータを組合せた分析手法や、効果的な情報発信の検討等、ICT交通マネジメントの高度化に向けた取組を推進



< AI画像解析を活用した交通量観測 >

< 常時観測体制（イメージ） >

### 【ICTを活用した様々な渋滞ソフト対策】

#### <背景/データ>

- ・ 令和2年の高速道路、首都高速・阪神高速、主要直轄国道の渋滞損失時間はコロナ禍前の令和元年と比較し、約9%の減少に留まり、依然として渋滞対策が必要

- コロナ禍における交通状況の変動と渋滞発生の関係の分析結果を踏まえ、100箇所の渋滞解消を目標に、民間企業等との連携による交通需要マネジメント（TDM）の取組を推進
- 災害時交通マネジメント<sup>参2</sup>について、地域防災計画に位置付けるとともに、これまでの取組事例を共有するなど、被災後速やかに効果的・効率的な対策が講じられるよう支援
- 更新工事が与える社会的影響を軽減するため、渋滞情報に関する広報等を実施

参1：学識有識者より政策提言を頂き、道路空間の有効活用による地域経済活性化戦略と、これを実現するための社会実験や実装に関する研究を推進する研究会（地域の特性・特徴を踏まえ、地方整備局等单位に地方研究会を設置）

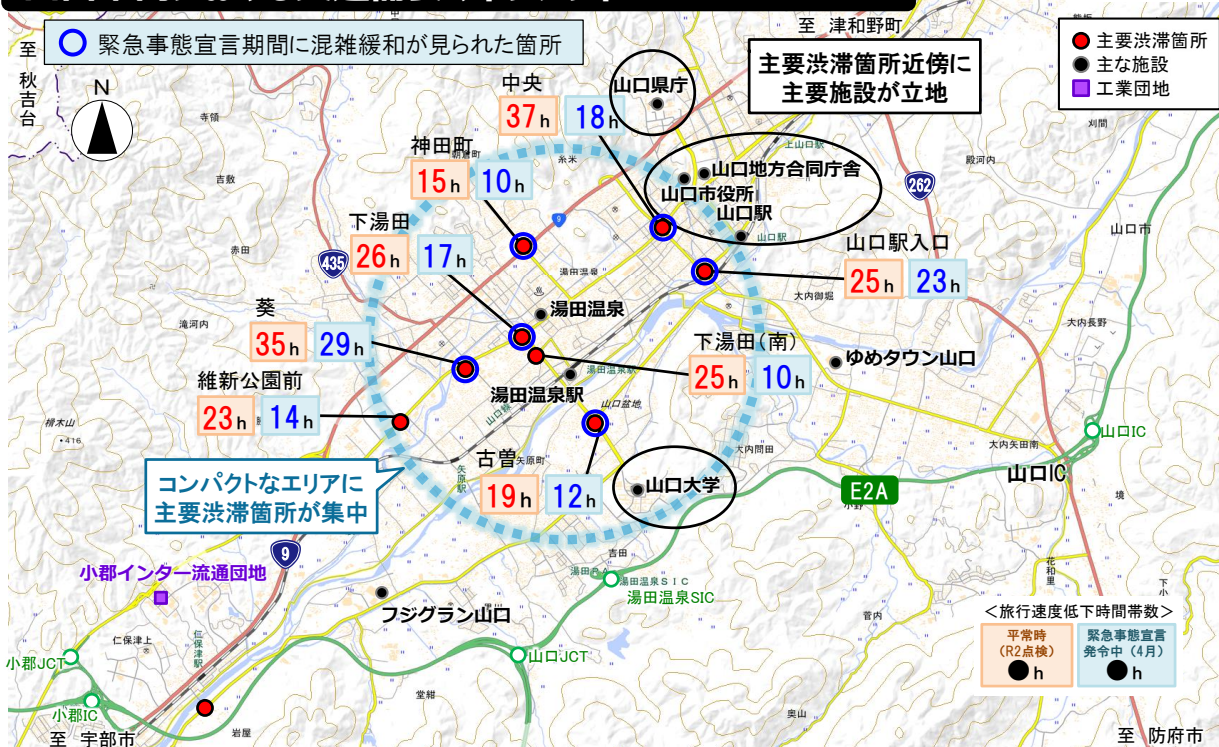
参2：国土交通省、警察、地方公共団体、高速道路会社、学識経験者、関連団体で構成される災害時交通マネジメント検討会を通じて実施

事例：広島・呉・東広島（平成30年7月豪雨）、関西国際空港連絡橋（平成30年台風21号）、熊本県人吉市（令和2年7月豪雨）等

# 取り組みの背景・経緯

- 山口市中心部には主要渋滞箇所が8箇所集中しており、緊急事態宣言期間において混雑の緩和が見られた。
- 山口市中心部ではノーマイカーデーやサイクル・アンド・ライドなどのTDMに資する様々な取組が実施されている。
- 令和3年3月の山口県交通渋滞対策部会において、山口市中心部を対象とするTDMの試行を検討することとなった。

## 山口市内における交通需要マネジメント



### 山口市内で現在取組み中の交通需要抑制策の一例

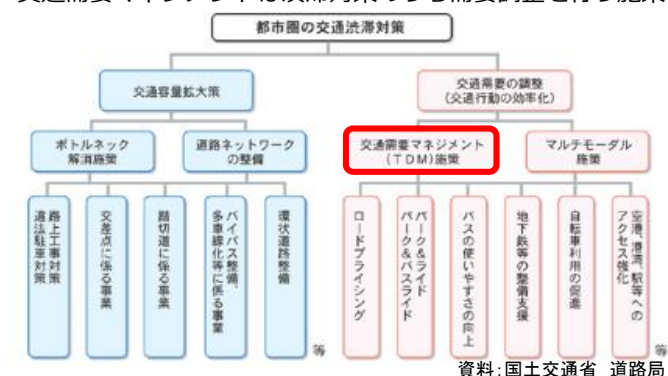
取組内容	対象者	備考
サイクル・アンド・ライド	市民	市内のバス停19箇所にて駐輪場設置
シェアサイクル実証事業	市民	サイクルステーション(16箇所、自転車50台)、30円/15分 実施期間: 令和2年9月4日から令和5年1月末
時差出勤	県庁職員	日あたり平均100名程度実施(令和2年度)

山口市内で交通需要マネジメント (TDM) の導入を検討  
今後関係機関で調整

## 交通需要マネジメント

### 交通渋滞対策の種類

交通需要マネジメントは渋滞対策のうち需要調整を行う施策



### 交通需要マネジメント (TDM) とは

クルマ利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの道路交通混雑を緩和する手法

- 時間の変更** 時差通勤、フレックスタイム など
- 経路の変更** 道路交通情報による経路の分散(交通誘導) など
- 自動車の効率的利用** 相乗り、共同集配 など
- 手段の変更** 公共交通機関、自転車への転換 など
- 発生源の調整** 在宅勤務 など

### 「新しい生活様式」の実践例

働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- オフィスはひろびろと
- 名刺交換はオンライン
- 時差通勤でゆったりと
- 会議はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

資料: 厚生労働省

# 取り組みの背景・経緯

- 山口市内で実施中のTDMに資する取り組みは、公共交通利用を始めとしたノーマイカーを中心に実施されている。

## ▼山口市内で実施中のTDMに資する取り組み

取組主体	施策名	対象者	備考
山口市	山口市 ノーマイカーデー	市民および 市内への通勤・通学者	毎月月末金曜日に実施 ■令和3年度実績 ・市内21事業所・団体:2,725人、個人83人が参加 ・毎月の実施率は17%前後 ・市内一斉ノーマイカーデー(令和3年5月13日)についてはバス100円券を市報で周知・配布し、395枚の利用があった。
山口市	サイクル・ アンド・ライド	市民	市内のバス停19箇所の近隣に駐輪場設置
山口市	シェアサイクル 実証実験	市民および市内への来訪者	サイクルステーション(26箇所、自転車70台)、30円/15分 8時間未満の課金上限額700円 実施期間:令和2年9月4日から令和5年1月末
山口市	山口式エコ通勤	山口市職員	市職員が率先して公共交通の利用機会創出につなげる取組約2,300人が参加
山口市	モビリティ・ マネジメント	山口市内を移動する大学生	市内路線バスで使用可能な期間限定フリーパスの交付とシェアサイクル無料(3h/回まで)アカウントの付与、事前・事後アンケートの実施及び、市内のお気に入りのスポットや風景を撮影 ■令和3年度実績 ・9名の参加 ・76件のフリーパスの利用
山口県	時差出勤	県庁職員	日あたり平均100名程度実施(令和2年度)
山口県地球温暖化対策地域協議会(環境やまぐち推進協議会) ※構成団体:事業所、民間団体、市町地球温暖化対策地域協議会、県、市町等	ノーマイカー 運動	県民、県内事業所、関係団体等 ○事業所(企業、団体、学校等) 事業所等におけるマイカー通勤者のノーマイカーデーの設定 ○家庭 買い物等日常生活におけるノーマイカー区間の設定、マイカー利用自粛(職場でのノーマイカー通勤は除く)	通年 <取組強化期間> ・6月【環境月間】 ・10月第3金曜日 【県内一斉ノーマイカーデー】令和3年10月15日(金曜日) ・12月 ■令和3年度実績 ・ノーマイカー運動参加を宣言したぶちエコやまぐち宣言事務所約300事務所

# 対象エリアの交通状況

## 山口市中心部エリアの時間帯別の速度状況

- 令和3年度の秋期における山口市中心部の朝の時間帯は、7時台と8時台で速度低下が発生しており、前後の6時台と9時台では比較的スムーズな走行が可能となっている。



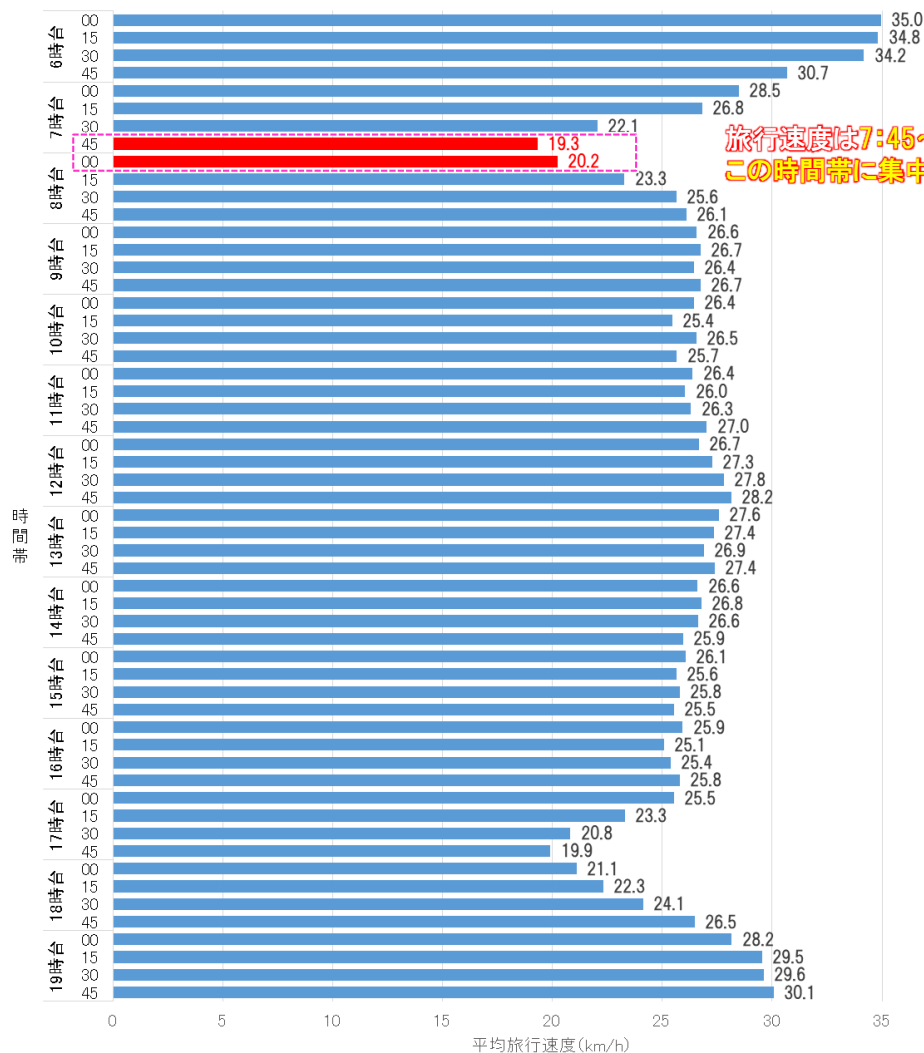


# 対象エリアの交通状況

## 山口市中心部エリアの時間帯別の速度状況(15分帯)

- 山口市中心部エリアの主要路線における平均旅行速度の推移を15分帯毎に整理すると、特に7:45~8:15の30分間で最も低下している。
- 一方で、7時前半や8時後半の速度は日中と同程度の水準となっていることから、速度低下は7:45~8:15頃の時間帯に集中している傾向がある。

### ▼山口市中心部エリアの平均旅行速度推移(15分帯)

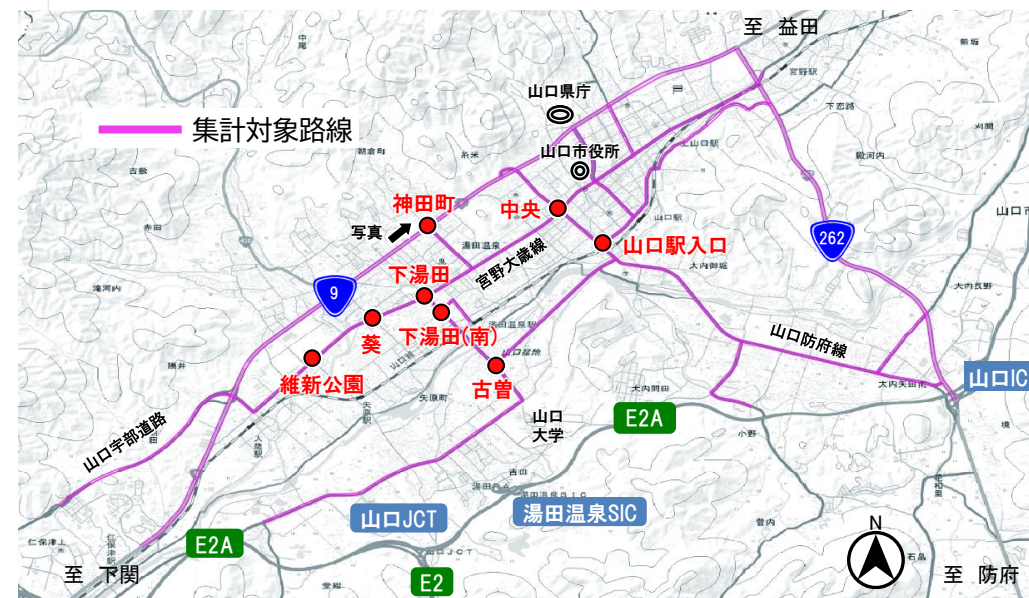


旅行速度は7:45~8:15で最も低下しており、この時間帯に集中する傾向

### ▼国道9号上り 神田町交差点付近の朝の渋滞状況



### ■対象路線



国道9号、国道262号、山口宇部道路、中国自動車道に囲まれる交通調査基本区間(センサス区間)を対象  
 ※センサス区間境界で区切り  
 ※陶湯田線の一部は対象外

# 対象エリアの交通状況

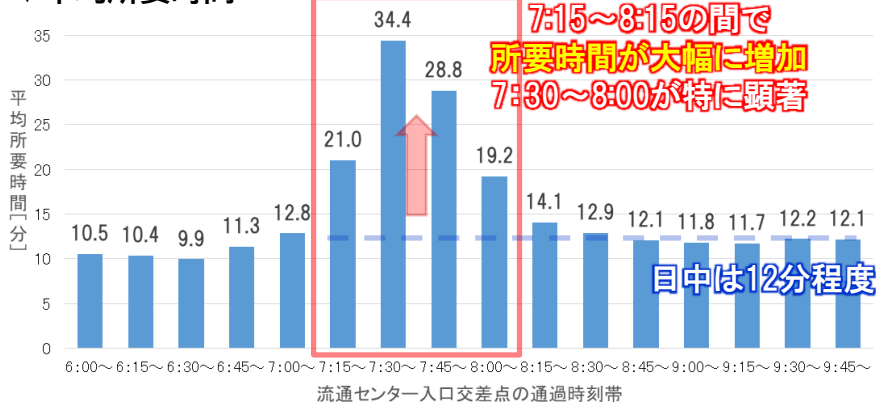
## 国道9号上り 時間帯別の所要時間

- 国道9号上りにおける流通センター入口交差点から県庁前交差点(約7.8km)の所要時間は、日中は12分程度であるが、流通センター入口交差点を7:15~8:15に通過した場合は所要時間が概ね20~30分まで大幅に増加する。
- このことから、国道9号の上り方向では7:15~8:15の交通集中を緩和・分散させることが効果的である。



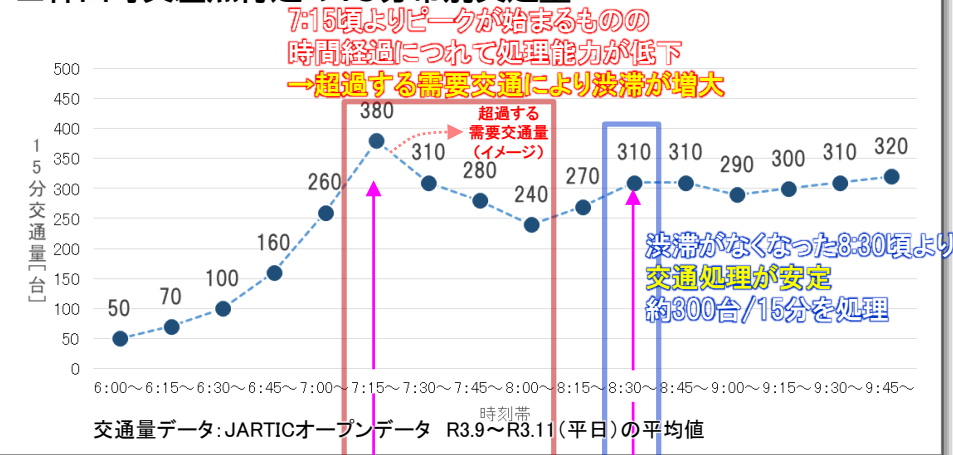
### 国道9号上り 通過時刻別の所要時間の変化

#### 平均所要時間

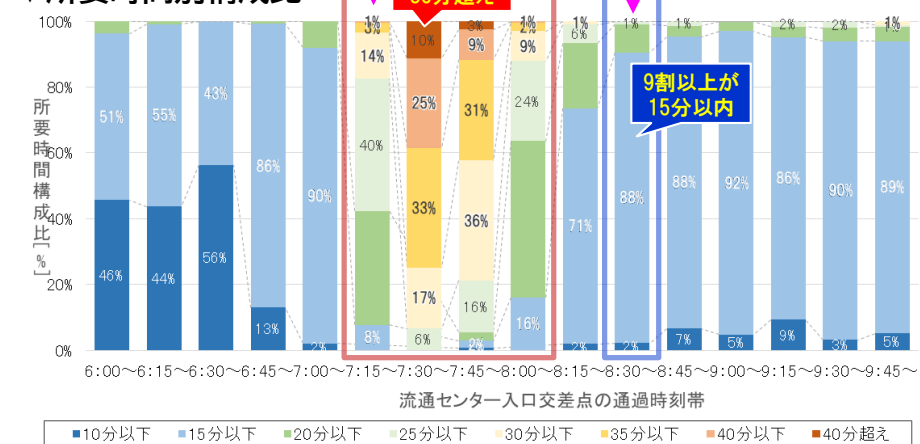


所要時間データ:ETC2.0プローブデータ R3.9~R3.11(平日)  
※流通センター入口交差点~県庁前交差点を走り抜けた走行データを集計

### ■神田町交差点付近の15分帯別交通量



### ▼所要時間別構成比



国道9号上りでは、7:15~8:15の交通集中の緩和・分散が効果的

# 取り組みの検討状況

- 山口市内で既往の取り組みである「手段の変更」に加え、コロナ禍に限らずに継続的な「時間の変更」および「発生源の調整」の定着を図る。
- 「手段の変更」、「時間の変更」および「発生源の調整」の実施が困難な道路利用者に向けては「経路の変更」の選択肢を設け、持続可能なTDMの定着を図る。

TDMの種類	施策名	対象者	備考
手段の変更	山口市一斉 ノーマイカーデー	市民および市内への 通勤・通学者	毎月月末金曜日に実施 その他令和3年5月13日(木)に実施
手段の変更	ノーマイカー 運動	県民、県民事業所、関係団体等	通年 ※取組強化期間は下記 6月【環境月間】、10月第3金曜日【県内一斉ノーマイカーデー】、 12月【地球温暖化防止月間】
手段の変更	サイクル・アンド・ ライド	市民	バス停19箇所に駐輪場設置
手段の変更	シェアサイクル 実証事業	市民および市内への来訪者	サイクルステーション(16箇所、自転車50台)、30円/15分 実施期間:令和2年9月4日から令和3年12月末
手段の変更	山口式エコ通勤	山口市職員	市職員が率先して公共交通の利用機会創出につなげる取組
時間の変更	時差出勤	県庁職員	県庁勤務職員の約180名により、日あたり100名程度実施(令和2年度)
試行① 時間の変更 (時差通勤の推進)		山口市中心部を発着する 道路利用者	データから国道9号の上り方向では7:15~8:15の交通集中の緩和・分散が効果的 →データ分析可能な国道9号上り神田町交差点への流入方向をモデルケースに、朝ピーク時の交通量削減の目標値を設定、モニタリングを実施
試行② 発生源の調整 (テレワークの推進)		上記かつ テレワークの実施が可能な方	同上 ※テレワーク:サテライトオフィス、在宅勤務、モバイルワーク
試行③ 経路の変更 (経路分散の推進)		時差通勤・テレワーク等の実施 が困難かつ目的地までの経路 の変更が可能な道路利用者	最短経路が主要渋滞箇所を通過する任意の2点間について、同等もしくはそれ以上の道路規格の経路との所要時間を整理し、経路分散のモデルケースを抽出

※破線囲み部が、新たに試行を検討するTDM

# 取り組みの検討状況

## 広報計画

- 令和4年度においては、山口市一斉ノーマイカーデーの参加者や参加事業所をはじめとする山口市中心部の事業所に対し、「テレワーク」や「時差出勤」、「経路の変更」等の実施について協力依頼・PR活動を行う。
- 協力依頼は、チラシ・ポスターの作成による紙媒体・電子媒体での展開、山口市の広報誌(市報やまぐち)への同封などを想定する。
- 実施後は、道路利用者や事業者に対しアンケート調査を実施するなど効果検証を行い、次年度以降への取組に反映する。

### ▼チラシ案

## みんなでチャレンジ! スムーズ山口市

みんなの「いつも」がちよっと変われば、混雑しがちな山口市中心部がぐっとスムーズに

### 1 いつもより少しだけ移動する時間帯を早く・遅くしてみる

みんなが同じ時間帯に同じ方向へ移動することで、混雑は発生します。たとえばいつもの時間帯より15分…30分…とずらすと混雑している道もスムーズに通行できることも。

早めに目的地に到着した日は、ゆっくりコーヒーを楽しむなど余裕のある朝のスタートをしてみてください。

早く出て ゆっくりコーヒータイム

イメージ

### 2 普段のルートを見直して混雑箇所を迂回してみる

慣れた道は走りやすいけれど、時間によっては他のルートの方が所要時間が短いかもしれません。

例えば、平日朝7時において防府方面から山口市中心部へ移動する場合、最短の山口防府線より混雑箇所を迂回する国道262号と国道9号線経由の方が早く山口市中心部に到着できます。

迂回しても所要時間は短いわ

イメージ

### 3 「今日は自宅。」通勤・通学しない手も

運転が苦手、通勤時間がかつた感じがする…そんな時は、**そもそも出勤しない**というのはいかがでしょうか。上司に相談してみると案外OKだったり、いっそも今日はチーム全員オンラインで、とあったりして…たまには場所を変えてみると気分も変わってくるかもしれません。

今日は在宅。ミーティングもオンラインで参加

### 4 公共交通機関、自転車、徒歩…移動手段はいろいろ

マイカー通勤では運転に集中する必要がありますが、公共交通機関を利用すると移動時間=自分時間として使えます。自転車や徒歩だと運動不足解消につながるだけでなく、ガソリン代の節約など、お財布にも環境にも優しい行動に。

ぜひ移動手段について検討してみてください。

サイクル県民だし自転車もいいかも

山口市のシェアサイクルについてはこちら  
https://www.city.yamaguchi.jp/na/na/0738411.html

山口市中心部の渋滞について詳しくはウラ面へ

山口県道路交通渋滞対策部会 山口市

## 平日7時台

旅行速度 km/h

- ～10以下
- 10～20以下
- 20～30以下
- 30～40以下
- 40～50以下
- 50～

イメージ

みんなで変えよう、山口市中心部の朝!

山口市中心部には主要渋滞箇所が8箇所集中しており、平日の朝の7～8時台において速度低下が発生しています。たとえば流通センター入口交差点から県庁前交差点(約7.8km)の所要時間は日中12分程度に対し、7時15分～8時15分に通過した場合は約20～30分まで増加します。

移動時間帯を変える、ルートを変える、過ごし方を変える、移動手段を変える…いつもの行動を見直して、「いつも混雑している」を変えてみませんか。スムーズな山口市中心部の朝を目指して、まずはあなただから。

もう少し朝の移動について考えてみよう

こんなに混んでいたなんて知らなかった…

毎日通っているのに

イメージ

山口県の渋滞対策は、WEBをご覧ください。

https://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/juta/index.html

2022年●月 発行

山口県道路交通渋滞対策部会 山口市  
お問い合わせ(事務局) ●●●●●●●● 〒●●●●●● 山口県●●●●●●123456789 TEL:090-000-0000